

第Ⅲ部 要介護高齢者

第1章 要介護高齢者（本人） 調査結果

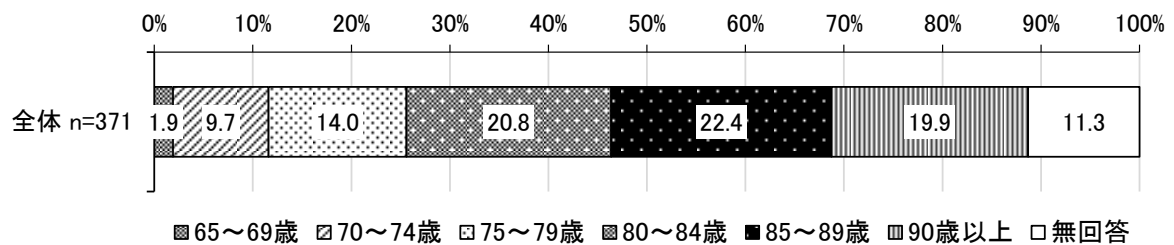
1 あて名のご本人について

本項目は、回答者の属性を把握するための項目となっています。

問1 以下はあて名のご本人についてお答えください。(令和4年12月1日現在でお答えください)

①年齢

年齢については、「85～89歳」が22.4%で最も高く、次いで「80～84歳」が20.8%、「90歳以上」が19.9%となっています。

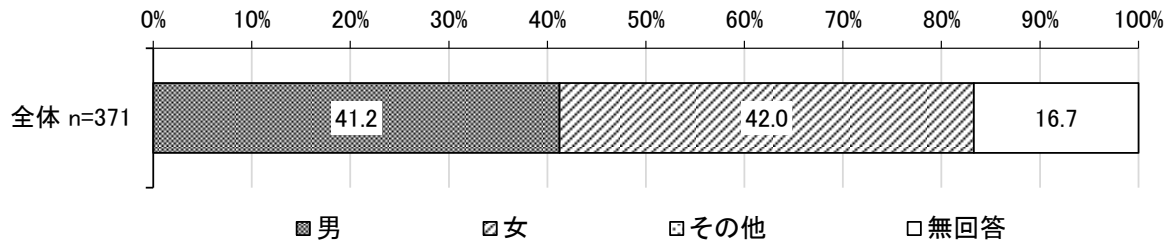


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体 n=371	1.9%	9.7%	14.0%	20.8%	22.4%	19.9%	11.3%
要介護1・2 n=192	1.6%	12.0%	15.1%	21.9%	27.6%	21.4%	0.5%
要介護3～5 n=103	3.9%	10.7%	15.5%	26.2%	17.5%	26.2%	0.0%

②性別

性別については、「男」が41.2%、「女」が42.0%、「その他」が0.0%となっています。

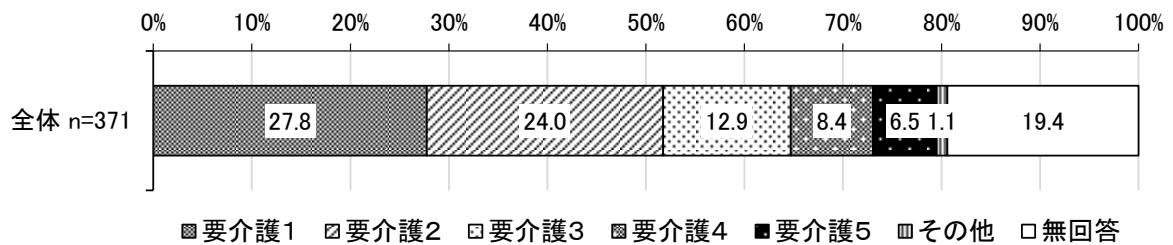


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	男	女	その他	無回答
全体 n=371	41.2%	42.0%	0.0%	16.7%
要介護1・2 n=192	50.0%	47.9%	0.0%	2.1%
要介護3～5 n=103	43.7%	54.4%	0.0%	1.9%

③要介護度

要介護度については、「要介護1」が27.8%で最も高く、次いで「要介護2」が24.0%、「要介護3」が12.9%となっています。



問2 お住まいの地区についてお答えください。

居住地区については、「新所沢地区」が9.2%で最も高く、次いで「所沢地区」が8.1%、「小手指第1地区」、「吾妻地区」がともに7.8%となっています。

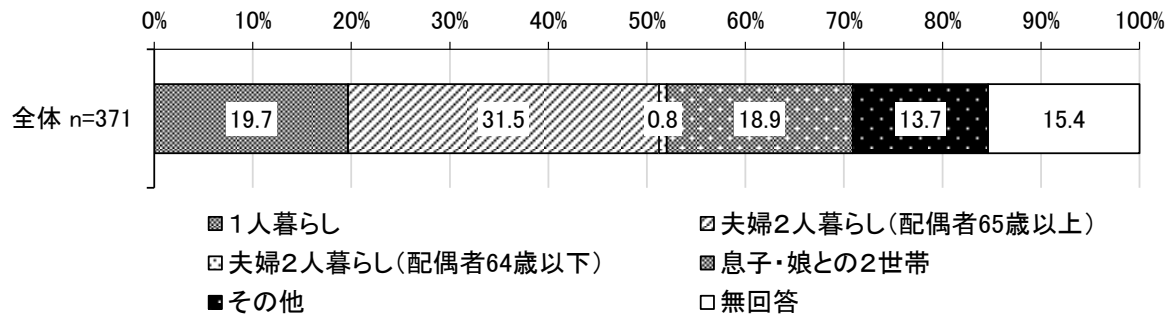


2 あなたのご家族や生活状況について

本項目は、家族構成、住まいの種類、現在の暮らしの経済状況を把握するための項目となっています。

問3 家族構成を教えてください。(回答は1つ) ★

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が31.5%で最も高く、次いで「1人暮らし」が19.7%、「息子・娘との2世帯」が18.9%となっています。

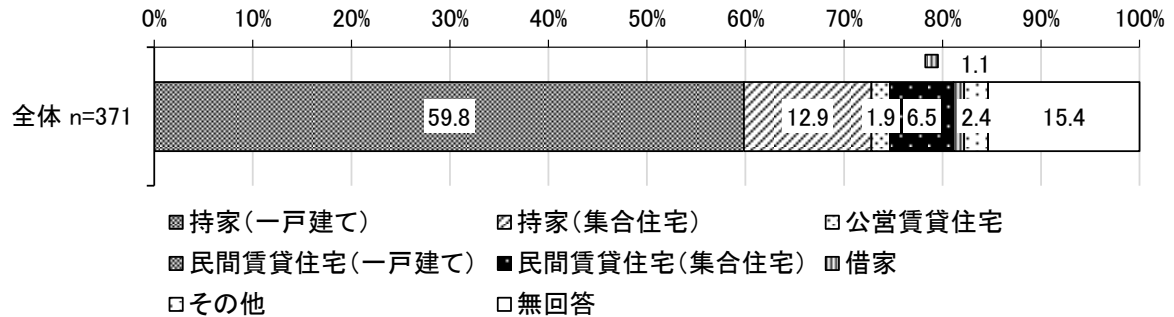


■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体 n=371	19.7%	31.5%	0.8%	18.9%	13.7%	15.4%
要介護1・2 n=192	24.5%	34.4%	0.0%	22.9%	13.5%	4.7%
要介護3～5 n=103	17.5%	35.0%	2.9%	19.4%	19.4%	5.8%

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(回答は1つ) ★

住まいの種類については、「持家（一戸建て）」が59.8%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が12.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が6.5%となっています。

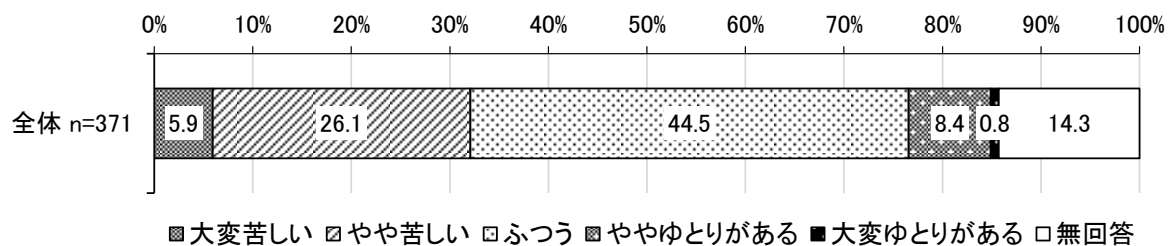


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
全体 n=371	59.8%	12.9%	1.9%	0.0%	6.5%	1.1%	2.4%	15.4%
要介護1・2 n=192	65.6%	16.1%	2.1%	0.0%	8.9%	1.0%	1.6%	4.7%
要介護3～5 n=103	68.0%	13.6%	1.0%	0.0%	2.9%	1.9%	4.9%	7.8%

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ) ★

現在の暮らしの経済状況については、「ふつう」が44.5%で最も高く、次いで「やや苦しい」が26.1%、「ややゆとりがある」が8.4%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

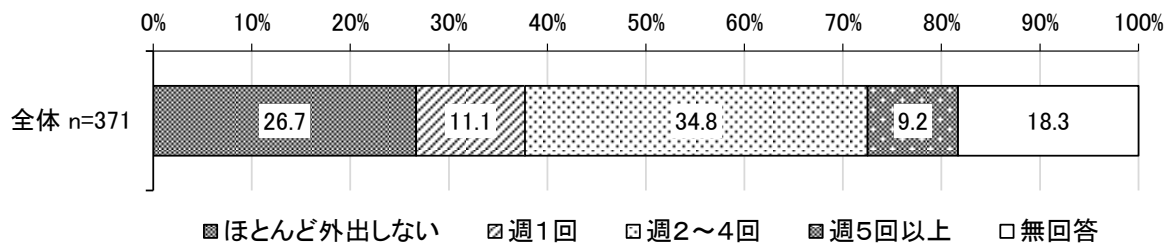
	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体 n=371	5.9%	26.1%	44.5%	8.4%	0.8%	14.3%
要介護1・2 n=192	5.2%	27.6%	52.1%	10.4%	1.6%	3.1%
要介護3～5 n=103	10.7%	35.0%	37.9%	9.7%	0.0%	6.8%

3 からだを動かすことについて

本項目は、外出の頻度、外出先、外出を控えている状況、外出時の移動手段などを把握するための項目となっています。

問6 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ) ★

1週間の外出頻度については、「週2～4回」が34.8%で最も高く、次いで「ほとんど外出しない」が26.7%、「週1回」が11.1%となっています。



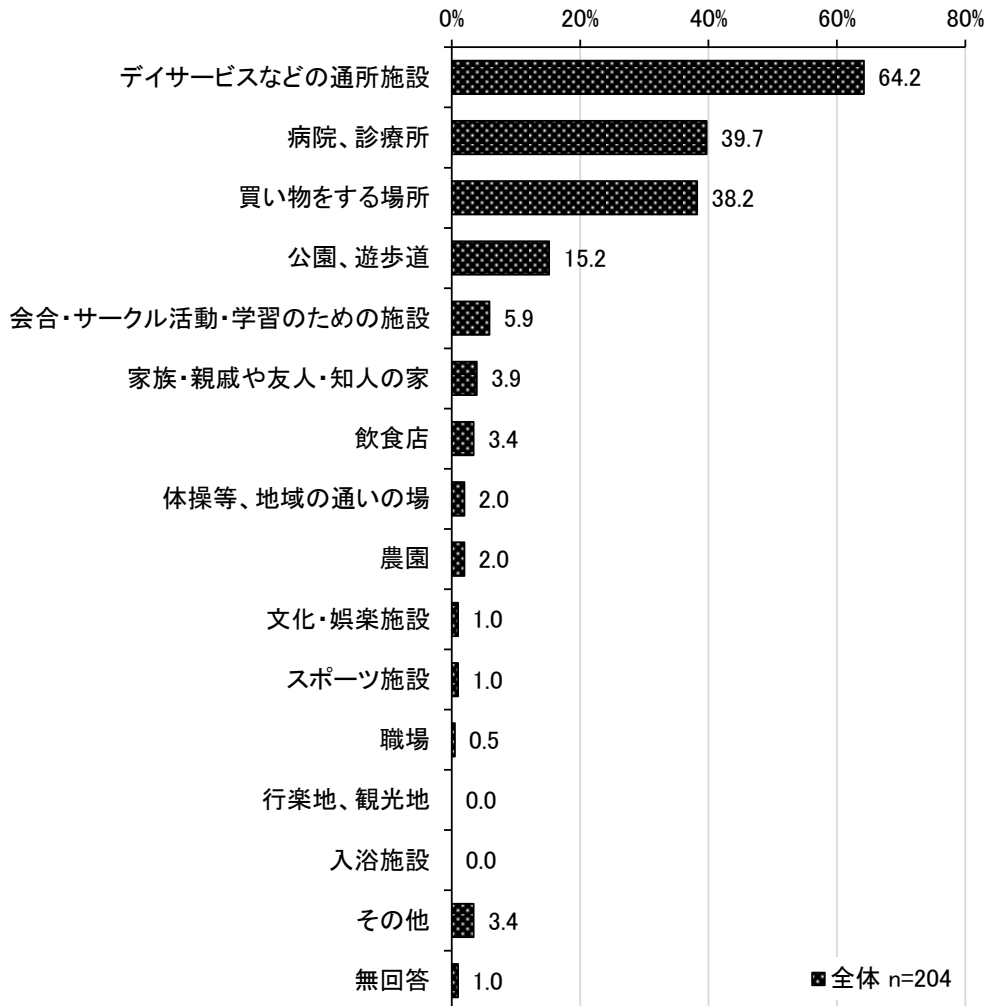
■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体 n=371	26.7%	11.1%	34.8%	9.2%	18.3%
要介護1・2 n=192	24.0%	15.6%	43.8%	10.4%	6.3%
要介護3～5 n=103	42.7%	5.8%	29.1%	9.7%	12.6%

【問6で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。】

問6-1 外出をする際の主な行き先は、次のどれですか。（回答は3つまで）

主な外出先については、「デイサービスなどの通所施設」が64.2%で最も高く、次いで「病院、診療所」が39.7%、「買い物をする場所」が38.2%となっています。



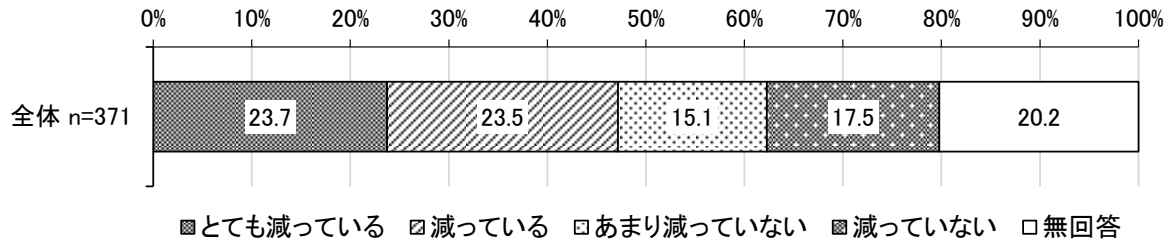
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	デイサービスなどの通所施設	病院、診療所	買い物をする場所	公園、遊歩道	会合・サークル活動・学習のための施設	家族・親戚や友人・知人の家	飲食店	体操等、地域の通いの場	農園
全体 n=204	64.2%	39.7%	38.2%	15.2%	5.9%	3.9%	3.4%	2.0%	2.0%
要介護1・2 n=134	66.4%	44.0%	38.1%	16.4%	4.5%	3.7%	3.0%	1.5%	2.2%
要介護3～5 n=46	71.7%	28.3%	34.8%	6.5%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	2.2%

	文化・娯楽施設	スポーツ施設	職場	行楽地、観光地	入浴施設	その他	無回答
全体 n=204	1.0%	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	3.4%	1.0%
要介護1・2 n=134	1.5%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.7%
要介護3～5 n=46	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%

問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ) ★

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「とても減っている」が23.7%で最も高く、次いで「減っている」が23.5%、「減っていない」が17.5%となっています。

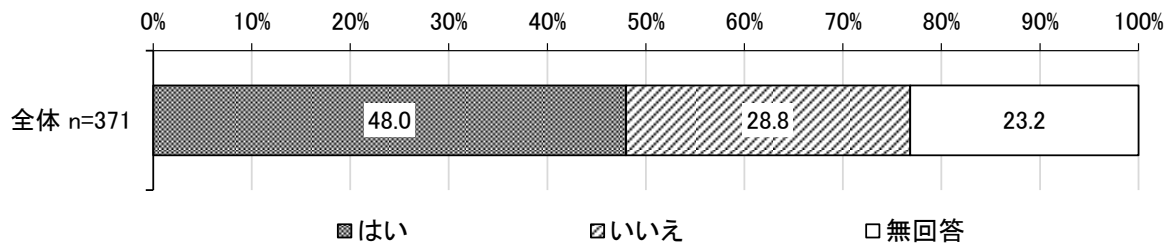


■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体 n=371	23.7%	23.5%	15.1%	17.5%	20.2%
要介護1・2 n=192	24.5%	31.3%	17.7%	19.8%	6.8%
要介護3～5 n=103	31.1%	15.5%	14.6%	20.4%	18.4%

問8 外出を控えていますか。(回答は1つ) ★

外出を控えているかについては、「はい」が48.0%、「いいえ」が28.8%と、「はい」が19.2ポイント上回っています。



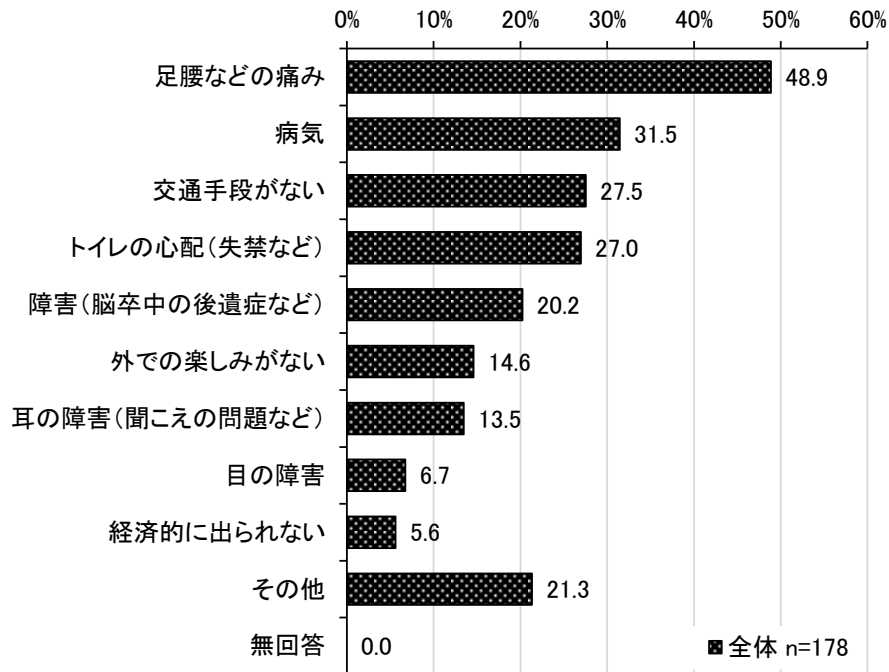
■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	はい	いいえ	無回答
全体 n=371	48.0%	28.8%	23.2%
要介護1・2 n=192	54.2%	33.9%	12.0%
要介護3～5 n=103	58.3%	24.3%	17.5%

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が48.9%で最も高く、次いで「病気」が31.5%、「交通手段がない」が27.5%となっています。



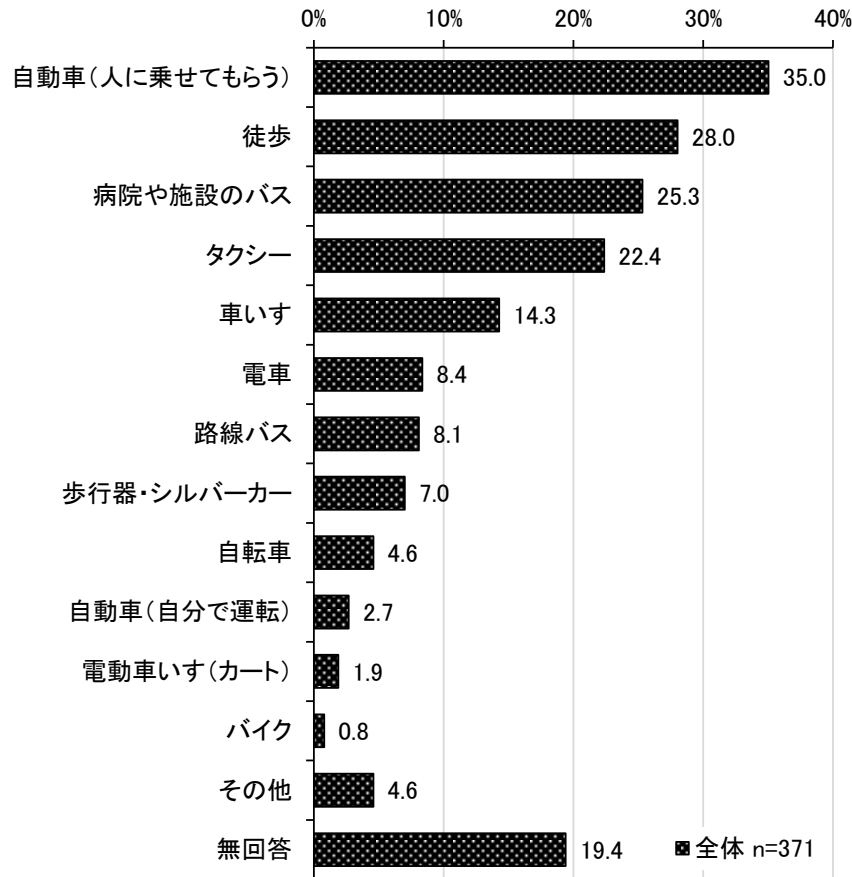
■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	足腰などの痛み	病気	交通手段がない	トイレの心配(失禁など)	障害(脳卒中の後遺症など)	外での楽しみがない	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	経済的に出られない
全体 n=178	48.9%	31.5%	27.5%	27.0%	20.2%	14.6%	13.5%	6.7%	5.6%
要介護1・2 n=104	59.6%	30.8%	26.9%	26.0%	16.3%	15.4%	15.4%	7.7%	6.7%
要介護3～5 n=60	31.7%	31.7%	25.0%	28.3%	30.0%	15.0%	11.7%	5.0%	5.0%

	その他	無回答
全体 n=178	21.3%	0.0%
要介護1・2 n=104	17.3%	0.0%
要介護3～5 n=60	31.7%	0.0%

問9 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出する際の移動手段については、「自動車(人に乗せてもらう)」が35.0%で最も高く、次いで「徒歩」が28.0%、「病院や施設のバス」が25.3%となっています。



■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	自動車(人に乗せてもらう)	徒歩	病院や施設のバス	タクシー	車いす	電車	路線バス	歩行器・シルバーカー	自転車
全体 n=371	35.0%	28.0%	25.3%	22.4%	14.3%	8.4%	8.1%	7.0%	4.6%
要介護1・2 n=192	44.8%	37.0%	30.2%	29.7%	10.9%	12.0%	12.5%	9.4%	4.2%
要介護3～5 n=103	32.0%	16.5%	24.3%	18.4%	29.1%	2.9%	1.9%	4.9%	6.8%

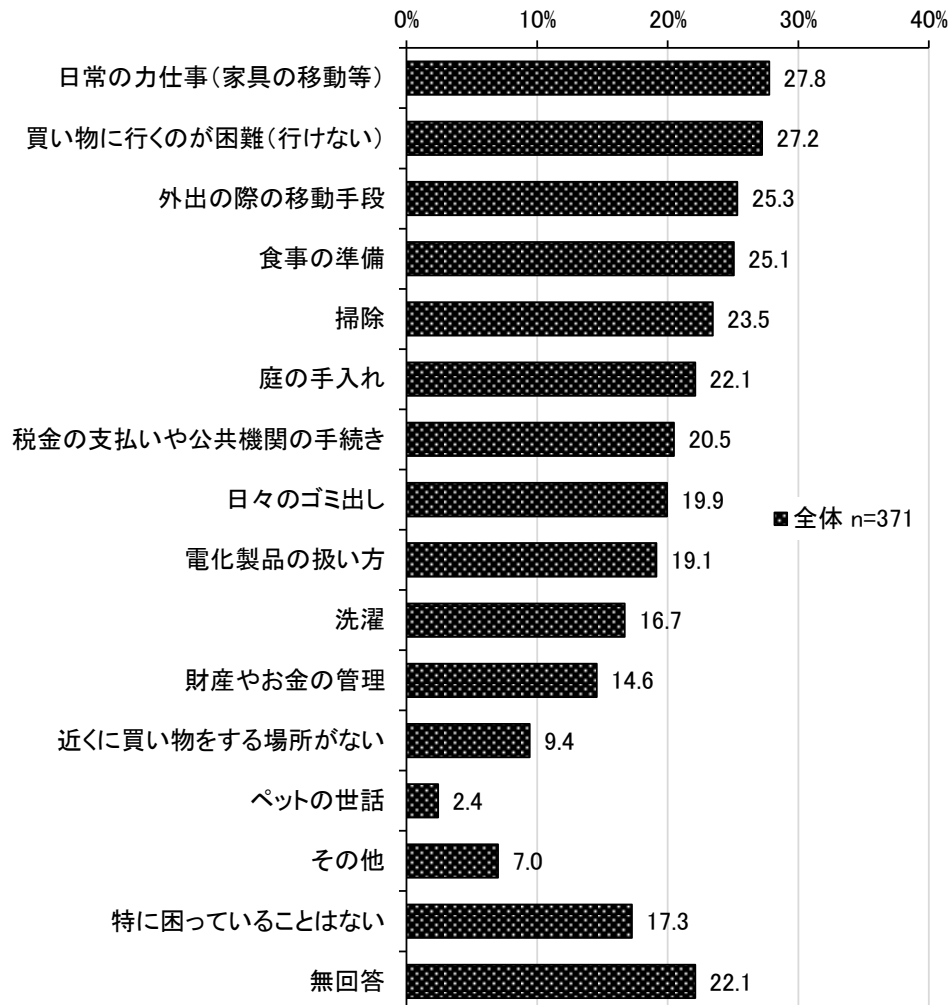
	自動車(自分で運転)	電動車いす(カート)	バイク	その他	無回答
全体 n=371	2.7%	1.9%	0.8%	4.6%	19.4%
要介護1・2 n=192	2.6%	3.1%	0.5%	2.6%	5.2%
要介護3～5 n=103	1.0%	1.0%	1.0%	7.8%	20.4%

4 毎日の生活について

本項目は、日常生活での困りごと、今後の生活で心配なことを把握するための項目となっています。

問 10 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

日常生活での困りごとについては、「日常の力仕事（家具の移動等）」が 27.8%で最も高く、次いで「買い物に行くのが困難（行けない）」が 27.2%、「外出の際の移動手段」が 25.3%となっています。



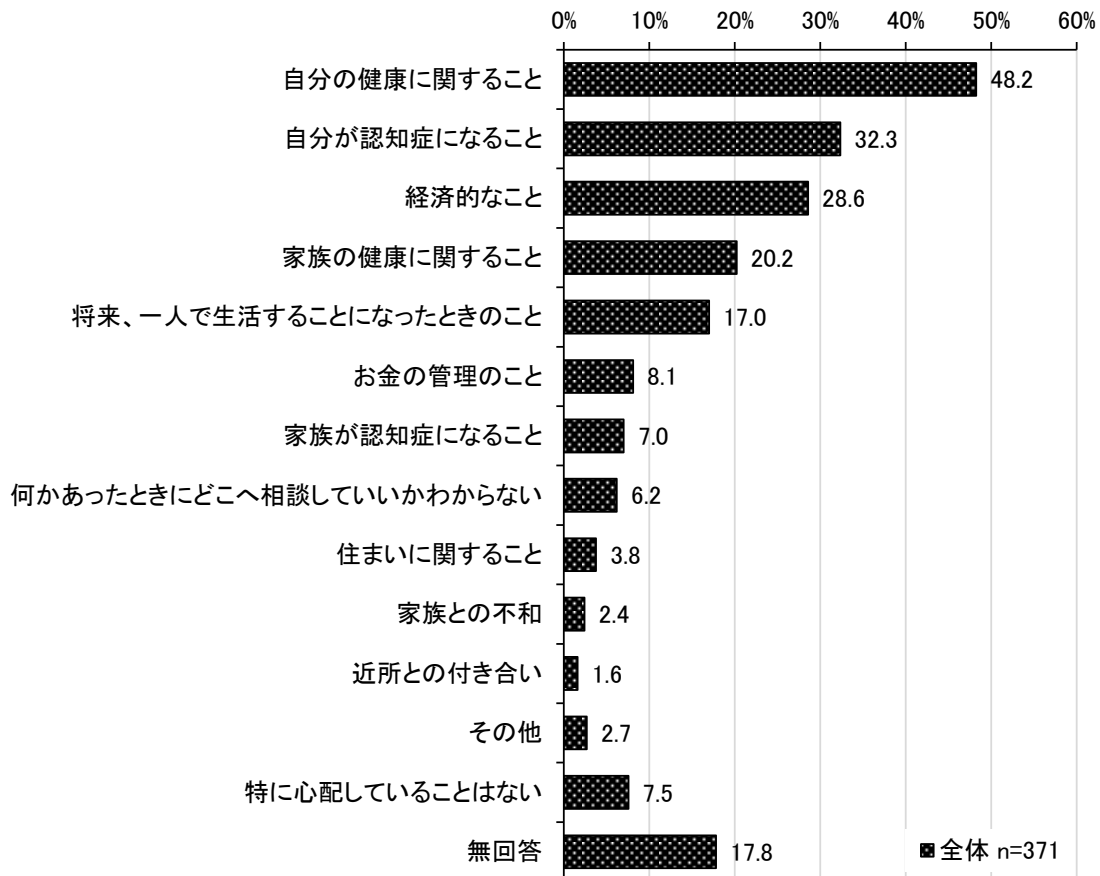
■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	日常の力仕事(家具の移動等)	買い物に行くのが困難(行けない)	外出の際の移動手段	食事の準備	掃除	庭の手入れ	税金の支払いや公共機関の手続き	日々のゴミ出し	電化製品の扱い方
全体 n=371	27.8%	27.2%	25.3%	25.1%	23.5%	22.1%	20.5%	19.9%	19.1%
要介護1・2 n=192	35.4%	31.3%	30.7%	30.2%	28.1%	28.6%	24.0%	24.0%	22.9%
要介護3～5 n=103	26.2%	30.1%	25.2%	27.2%	24.3%	21.4%	23.3%	20.4%	20.4%

	洗濯	財産やお金の管理	近くに買い物をする場所がない	ペットの世話	その他	特に困っていることはない	無回答
全体 n=371	16.7%	14.6%	9.4%	2.4%	7.0%	17.3%	22.1%
要介護1・2 n=192	19.3%	18.2%	13.0%	3.1%	6.8%	19.3%	8.9%
要介護3～5 n=103	20.4%	15.5%	6.8%	2.9%	10.7%	16.5%	22.3%

問 11 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分の健康に関すること」が48.2%で最も高く、次いで「自分が認知症になること」が32.3%、「経済的なこと」が28.6%となっています。



■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	自分の健康に関すること	自分が認知症になること	経済的なこと	家族の健康に関すること	将来、一人で生活することになったときのこと	お金の管理のこと	家族が認知症になること	何かあったときにどこへ相談していいかわからない	住まいに関すること
全体 n=371	48.2%	32.3%	28.6%	20.2%	17.0%	8.1%	7.0%	6.2%	3.8%
要介護1・2 n=192	57.8%	39.1%	33.9%	24.5%	18.2%	10.9%	7.3%	7.3%	5.2%
要介護3～5 n=103	43.7%	27.2%	35.0%	21.4%	16.5%	6.8%	9.7%	3.9%	2.9%

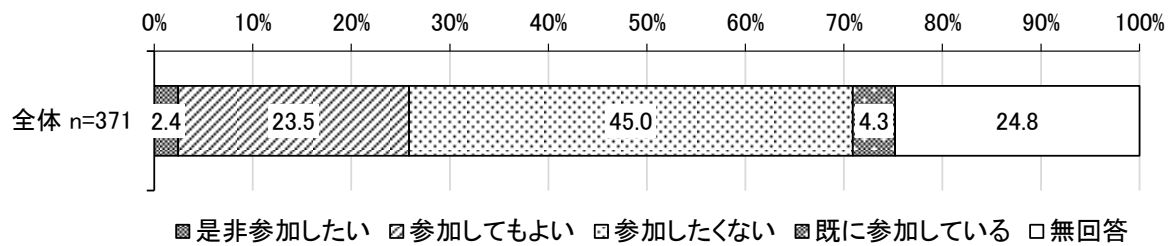
	家族との不和	近所との付き合い	その他	特に心配していることはない	無回答
全体 n=371	2.4%	1.6%	2.7%	7.5%	17.8%
要介護1・2 n=192	2.1%	2.6%	2.1%	7.8%	4.7%
要介護3～5 n=103	4.9%	1.0%	3.9%	10.7%	15.5%

5 地域の活動について

本項目は、地域の活動へ参加者として参加する意向、地域との関係に対する考え方を把握するための項目となっています。

問 12 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が45.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が23.5%、「既に参加している」が4.3%となっています。

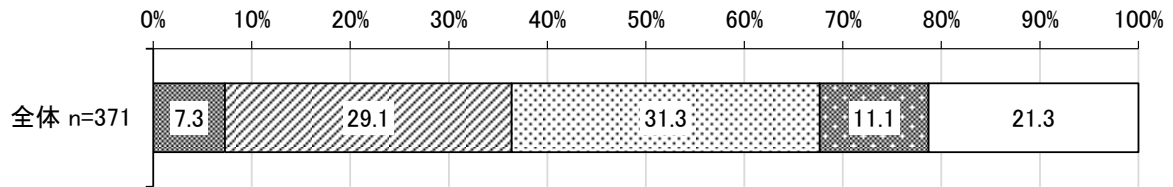


■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体 n=371	2.4%	23.5%	45.0%	4.3%	24.8%
要介護1・2 n=192	3.1%	31.3%	50.0%	4.7%	10.9%
要介護3～5 n=103	2.9%	16.5%	50.5%	2.9%	27.2%

問 13 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

地域との関係に対する考え方については、「お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい」が 31.3%で最も高く、次いで「いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい」が 29.1%、「かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい」が 11.1%となっています。



- お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい
- いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい
- お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい
- かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい
- 無回答

■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

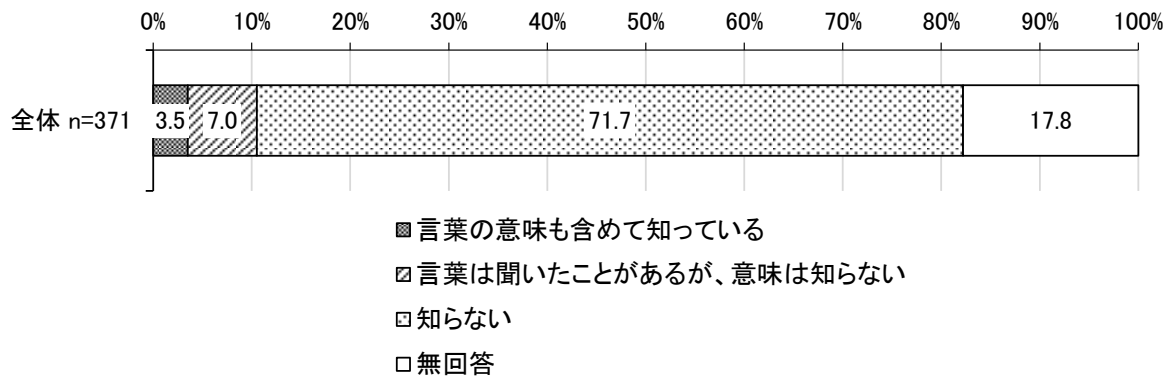
	お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい	いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい	お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい	かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい	無回答
全体 n=371	7.3%	29.1%	31.3%	11.1%	21.3%
要介護1・2 n=192	11.5%	32.8%	36.5%	13.0%	6.3%
要介護3～5 n=103	4.9%	30.1%	28.2%	12.6%	24.3%

6 健康について

本項目は、アドバンス・ケア・プランニングの認知度、終末期に希望する場所、終末期の在宅生活で不安に感じることを把握するための項目となっています。

問 14 アドバンス・ケア・プランニング（ACP：愛称「人生会議」）を知っていますか。 （回答は1つ）

アドバンス・ケア・プランニング（ACP：愛称「人生会議」）の認知度については、「知らない」が71.7%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が7.0%、「言葉の意味も含めて知っている」が3.5%となっています。

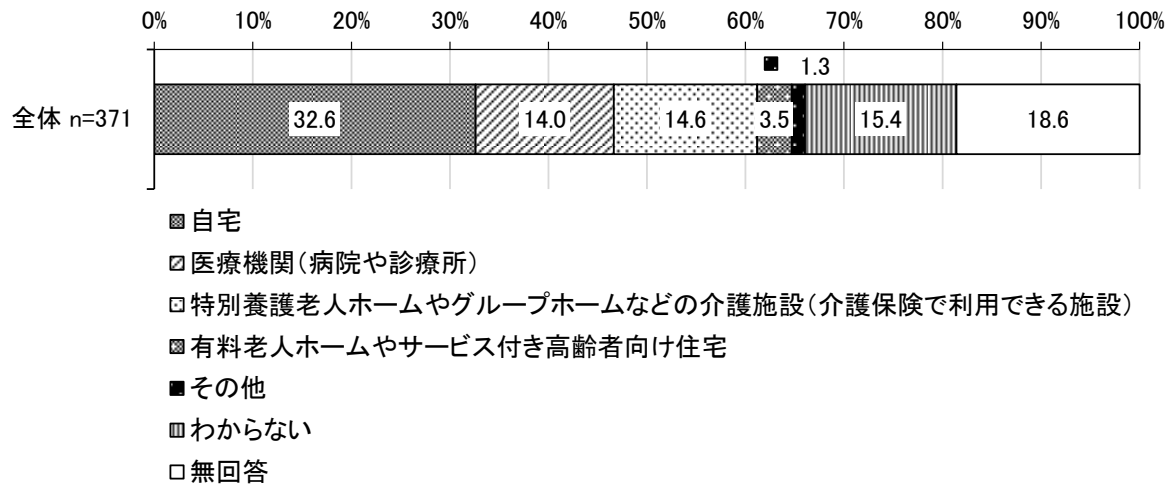


■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	言葉の意味も含めて知っている	言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	知らない	無回答
全体 n=371	3.5%	7.0%	71.7%	17.8%
要介護1・2 n=192	4.2%	8.3%	82.8%	4.7%
要介護3～5 n=103	3.9%	5.8%	73.8%	16.5%

**問 15 終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）をどこで過ごしたいと思いますか。
（回答は1つ）**

終末期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が 32.6%で最も高く、次いで「わからない」が 15.4%、「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設（介護保険で利用できる施設）」が 14.6%となっています。

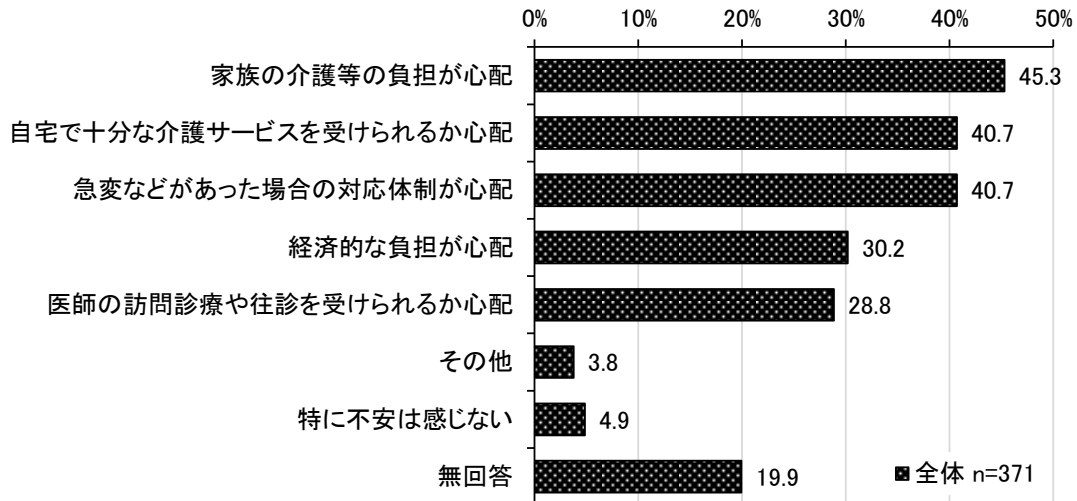


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	自宅	医療機関 (病院や診療所)	特別養護老人ホームや グループホームなどの 介護施設 (介護保険 で利用できる 施設)	有料老人 ホームや サービス付 き高齢者向 け住宅	その他	わからない	無回答
全体 n=371	32.6%	14.0%	14.6%	3.5%	1.3%	15.4%	18.6%
要介護1・2 n=192	38.0%	16.7%	16.7%	4.2%	1.6%	16.7%	6.3%
要介護3～5 n=103	32.0%	13.6%	15.5%	3.9%	1.9%	17.5%	15.5%

問 16 終末期の在宅での生活について、どのようなことに不安を感じますか。
(あてはまるものすべてに回答)

終末期の在宅生活で不安を感じることについては、「家族の介護等の負担が心配」が45.3%で最も高く、次いで「自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配」、「急変などがあった場合の対応体制が心配」がともに40.7%、「経済的な負担が心配」が30.2%となっています。



■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	家族の介護等の負担が心配	自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配	急変などがあった場合の対応体制が心配	経済的な負担が心配	医師の訪問診療や往診を受けられるか心配	その他	特に不安は感じない	無回答
全体 n=371	45.3%	40.7%	40.7%	30.2%	28.8%	3.8%	4.9%	19.9%
要介護1・2 n=192	54.2%	48.4%	49.0%	34.9%	30.7%	2.6%	5.7%	6.3%
要介護3～5 n=103	49.5%	40.8%	39.8%	35.9%	31.1%	5.8%	5.8%	18.4%

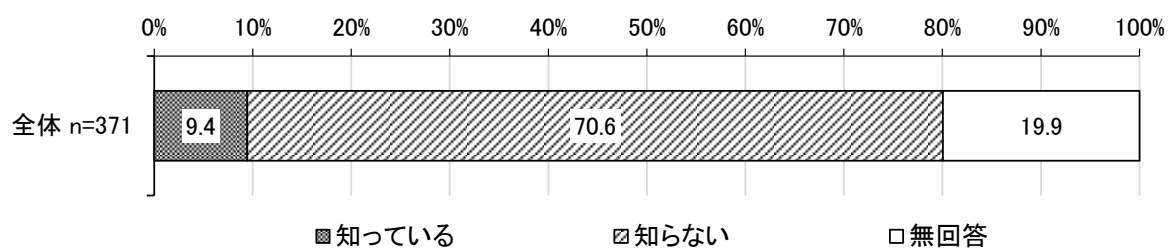
7 認知症施策について

本項目は、認知症施策等に係る認知度や認知症の状況を把握するための項目となっています。

**問 17 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(それぞれ回答は1つ)**

①「みんなのカフェ（認知症カフェ）」

みんなのカフェ（認知症カフェ）の認知度については、「知っている」が9.4%、「知らない」が70.6%と、「知らない」が61.2ポイント上回っています。

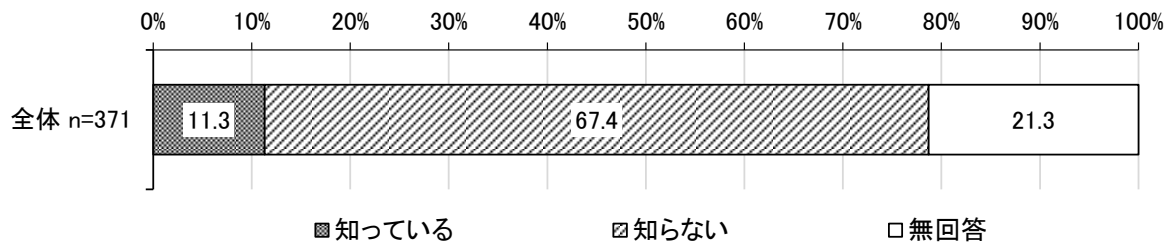


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	知っている	知らない	無回答
全体 n=371	9.4%	70.6%	19.9%
要介護1・2 n=192	10.9%	83.9%	5.2%
要介護3～5 n=103	11.7%	69.9%	18.4%

② 「認知症サポーター」

認知症サポーターの認知度については、「知っている」が11.3%、「知らない」が67.4%と、「知らない」が56.1ポイント上回っています。

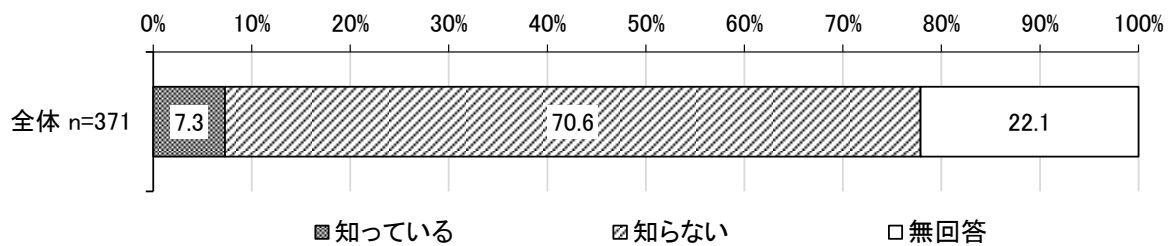


■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	知っている	知らない	無回答
全体 n=371	11.3%	67.4%	21.3%
要介護1・2 n=192	14.6%	78.1%	7.3%
要介護3～5 n=103	10.7%	68.9%	20.4%

③ 「トコロんおかえりQR」

トコロんおかえりQRの認知度については、「知っている」が7.3%、「知らない」が70.6%と、「知らない」が63.3ポイント上回っています。

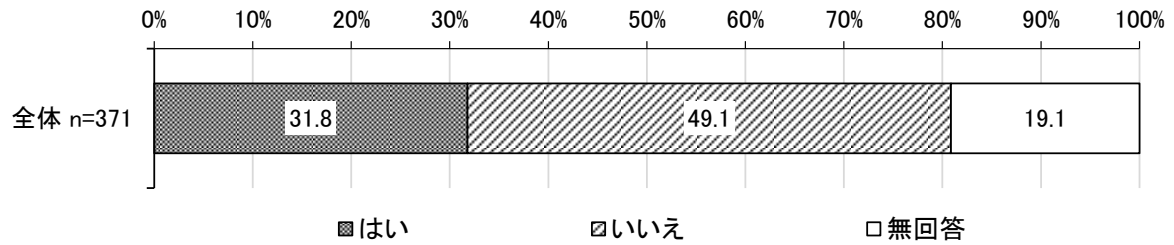


■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	知っている	知らない	無回答
全体 n=371	7.3%	70.6%	22.1%
要介護1・2 n=192	8.3%	83.9%	7.8%
要介護3～5 n=103	8.7%	68.9%	22.3%

**問 18 あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいいますか。
(回答は1つ) ★**

自身に認知症の症状又は家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が 31.8%、「いいえ」が 49.1%と、「いいえ」が 17.3 ポイント上回っています。



■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

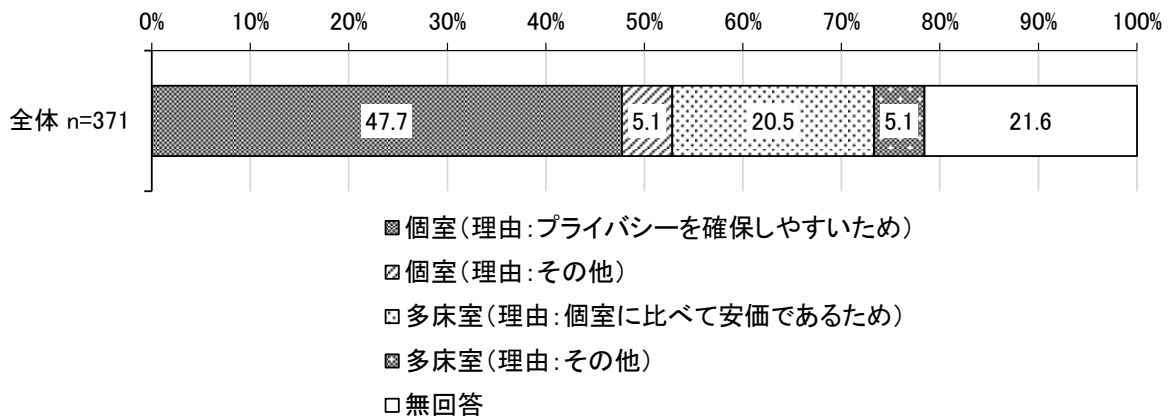
	はい	いいえ	無回答
全体 n=371	31.8%	49.1%	19.1%
要介護1・2 n=192	36.5%	57.3%	6.3%
要介護3～5 n=103	35.9%	47.6%	16.5%

8 市の施策・事業、介護保険制度について

本項目は、自身が特別養護老人ホームに入所する場合の部屋の希望、介護の認定申請の理由、介護保険料への負担感、介護保険サービスと介護保険料との関係性に対する考え方、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス、市の独自制度（紙おむつ給付事業）に対する意向、大人用紙おむつの利用状況を把握するための項目となっています。

問 19 あなた自身が特別養護老人ホームに入所する場合、個室と多床室（2～4人の方が同室のタイプ）のいずれを希望するか、その主な理由とともにお答えください。（回答は1つ）

自身が特別養護老人ホームに入所する場合の部屋の希望については、「個室（理由：プライバシーを確保しやすいため）」が 47.7%で最も高く、次いで「多床室（理由：個室に比べて安価であるため）」が 20.5%、「個室（理由：その他）」、「多床室（理由：その他）」がともに 5.1%となっています。

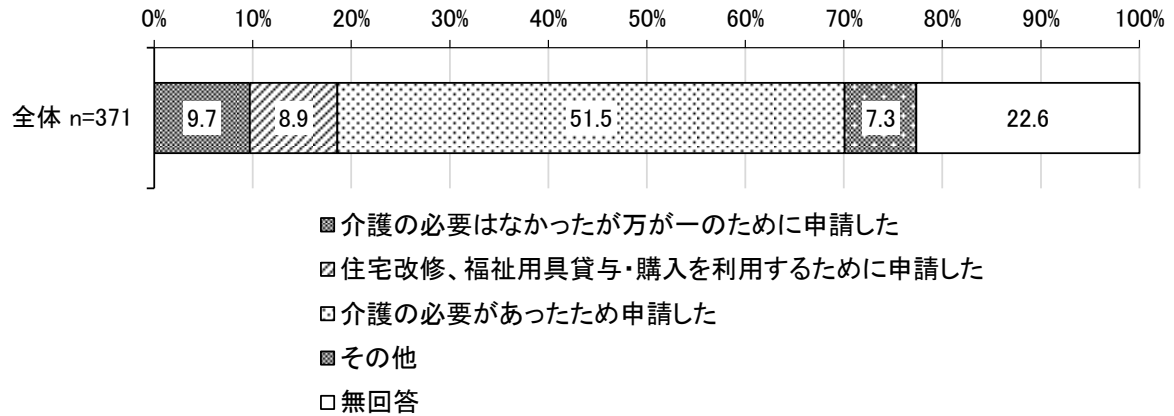


■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	個室(理由: プライバシーを確保しやすいため)	個室(理由: その他)	多床室(理由: 個室に比べて安価であるため)	多床室(理由: その他)	無回答
全体 n=371	47.7%	5.1%	20.5%	5.1%	21.6%
要介護1・2 n=192	57.3%	6.3%	22.9%	5.7%	7.8%
要介護3～5 n=103	47.6%	4.9%	22.3%	4.9%	20.4%

問 20 介護の認定申請を初めてした際の理由は何ですか。(回答は1つ)

初めて介護の認定申請をした際の理由については、「介護の必要があったため申請した」が51.5%で最も高く、次いで「介護の必要はなかったが万が一のために申請した」が9.7%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入を利用するために申請した」が8.9%となっています。

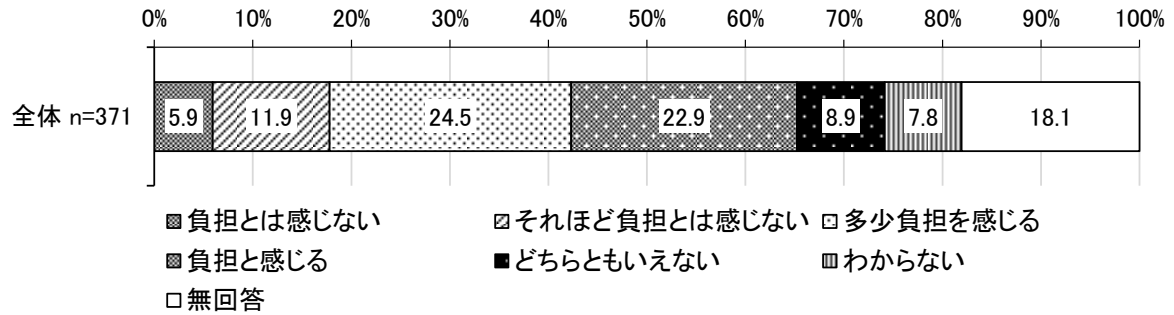


■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	介護の必要はなかったが万が一のために申請した	住宅改修、福祉用具貸与・購入を利用するために申請した	介護の必要があったため申請した	その他	無回答
全体 n=371	9.7%	8.9%	51.5%	7.3%	22.6%
要介護1・2 n=192	11.5%	12.0%	56.8%	8.3%	11.5%
要介護3～5 n=103	4.9%	5.8%	67.0%	4.9%	17.5%

問 21 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

介護保険料に対する負担感については、「多少負担を感じる」が24.5%で最も高く、次いで「負担とを感じる」が22.9%、「それほど負担とは感じない」が11.9%となっています。

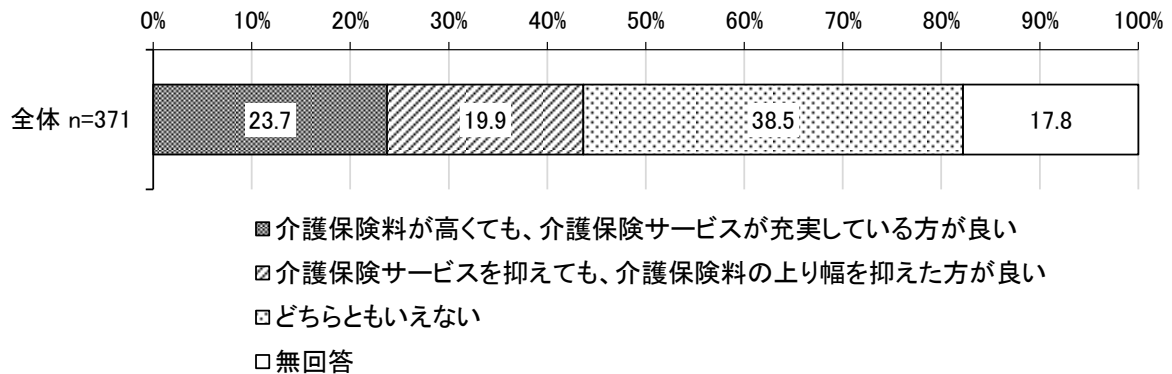


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	負担とは感じない	それほど負担とは感じない	多少負担を感じる	負担とを感じる	どちらともいえない	わからない	無回答
全体 n=371	5.9%	11.9%	24.5%	22.9%	8.9%	7.8%	18.1%
要介護1・2 n=192	7.8%	13.5%	25.0%	26.6%	12.5%	8.3%	6.3%
要介護3～5 n=103	4.9%	11.7%	29.1%	25.2%	6.8%	8.7%	13.6%

問 22 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

介護保険サービスと介護保険料との関係性に対する考え方については、「どちらともいえない」が38.5%で最も高く、次いで「介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い」が23.7%、「介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い」が19.9%となっています。

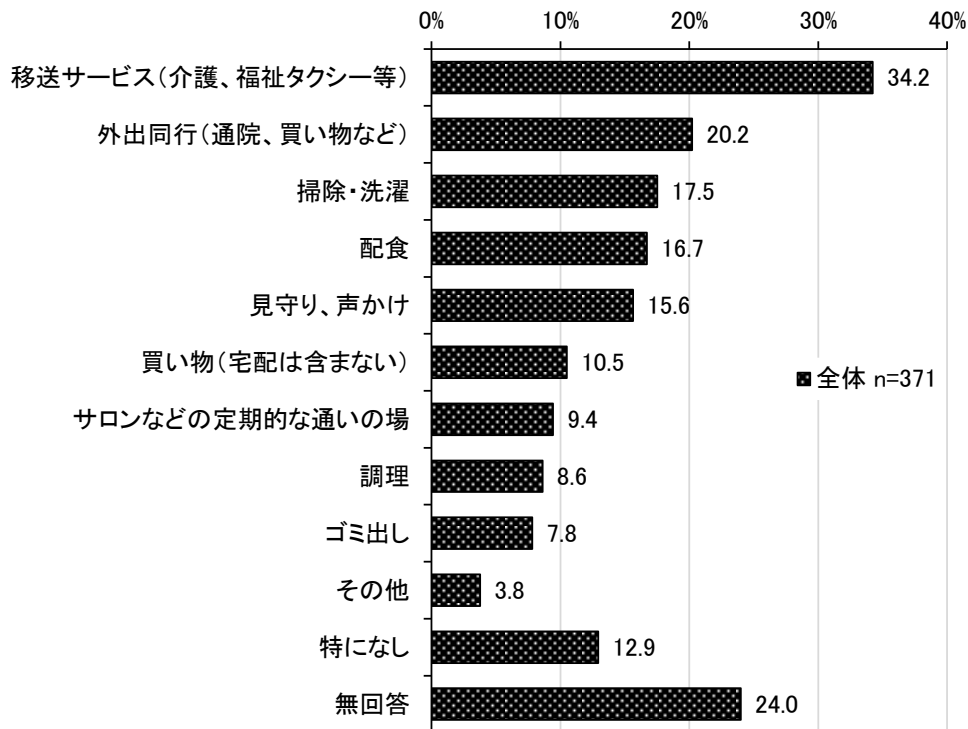


■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い	介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い	どちらともいえない	無回答
全体 n=371	23.7%	19.9%	38.5%	17.8%
要介護1・2 n=192	26.6%	22.4%	45.3%	5.7%
要介護3～5 n=103	30.1%	17.5%	38.8%	13.6%

問 23 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてお答えください。（回答は3つまで）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が34.2%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が20.2%、「掃除・洗濯」が17.5%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	移送サービス(介護、福祉タクシー等)	外出同行(通院、買い物など)	掃除・洗濯	配食	見守り、声かけ	買い物(宅配は含まない)	サロンなどの定期的な通いの場	調理	ゴミ出し
全体 n=371	34.2%	20.2%	17.5%	16.7%	15.6%	10.5%	9.4%	8.6%	7.8%
要介護1・2 n=192	39.1%	25.5%	25.0%	17.2%	20.3%	13.5%	13.5%	13.0%	8.9%
要介護3～5 n=103	38.8%	18.4%	12.6%	20.4%	12.6%	8.7%	7.8%	5.8%	6.8%

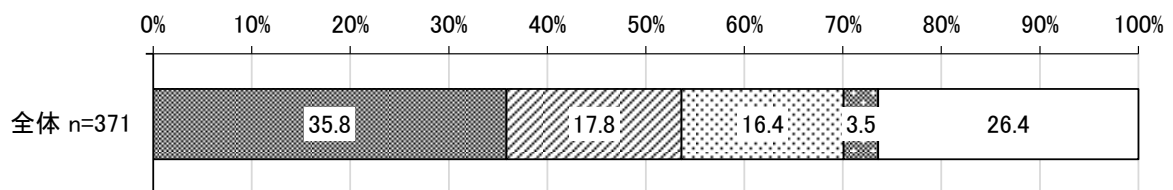
	その他	特になし	無回答
全体 n=371	3.8%	12.9%	24.0%
要介護1・2 n=192	2.6%	13.0%	10.9%
要介護3～5 n=103	5.8%	14.6%	24.3%

問 24 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象（一部支給要件有り）に、紙おむつ給付事業を実施しています。

令和2年度より国県等の補助がなくなったことから、現在は介護保険料を財源として実施していますが、紙おむつの支給額は年々増加傾向にあり、今後の介護保険料への影響が予想されます。

今後、紙おむつ給付事業をどのように実施していくべきだと思いますか。（回答は1つ）

今後、紙おむつ給付事業をどのように実施していくべきかについては、「介護保険料が上がっても、現行どおりの内容（上限5,600円／月）で継続した方がよい」が35.8%で最も高く、次いで「介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい」が17.8%、「支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい」が16.4%となっています。



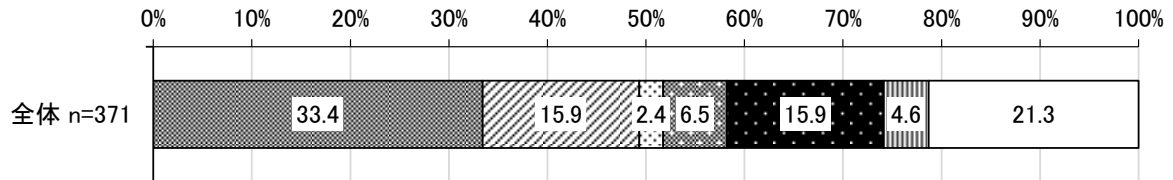
- 介護保険料が上がっても、現行どおりの内容(上限5,600円/月)で継続した方がよい
- ▣ 介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい
- ▤ 支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい
- ▥ 国や県の補助がない以上、市の独自制度として実施する必要性は低い
- 無回答

■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	介護保険料が上がっても、現行どおりの内容(上限5,600円/月)で継続した方がよい	介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい	支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい	国や県の補助がない以上、市の独自制度として実施する必要性は低い	無回答
全体 n=371	35.8%	17.8%	16.4%	3.5%	26.4%
要介護1・2 n=192	41.1%	25.0%	15.1%	4.2%	14.6%
要介護3～5 n=103	41.7%	13.6%	18.4%	2.9%	23.3%

問 25 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)

大人用紙おむつの利用状況については、「現在、紙おむつは利用していない」が 33.4%で最も高く、次いで「念のため、使用している（間に合わない時や外出時用）」、「昼用と夜用を使い分けて、常時使用している」がともに 15.9%、「寝たきり状態であり、常時使用している」が 6.5%となっています。



- 現在、紙おむつは利用していない
- ▣ 念のため、使用している(間に合わない時や外出時用)
- 寝ている間だけ、使用している
- 寝たきり状態であり、常時使用している
- 昼用と夜用を使い分けて、常時使用している
- ▣ その他
- 無回答

■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	現在、紙おむつは利用していない	念のため、使用している(間に合わない時や外出時用)	寝ている間だけ、使用している	寝たきり状態であり、常時使用している	昼用と夜用を使い分けて、常時使用している	その他	無回答
全体 n=371	33.4%	15.9%	2.4%	6.5%	15.9%	4.6%	21.3%
要介護1・2 n=192	45.3%	21.4%	3.1%	1.0%	15.1%	6.3%	7.8%
要介護3～5 n=103	14.6%	13.6%	2.9%	19.4%	27.2%	2.9%	19.4%

第2章 要介護高齢者（介護者） 調査結果

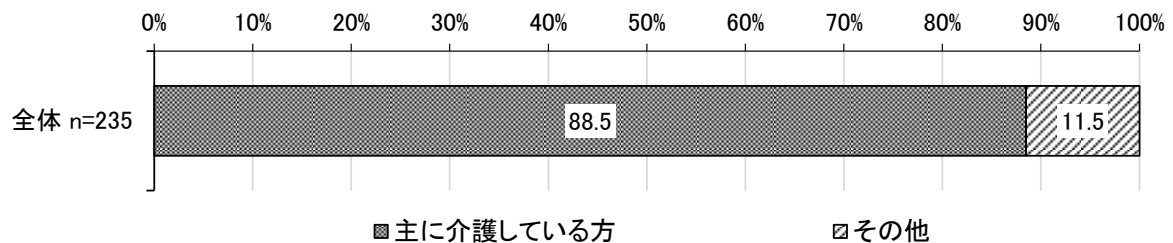
1 調査票を記入される方について

本調査は、調査対象者を介護している方の生活状況などを把握するために設けられた調査項目となります。

調査結果については、各設問にご回答いただいた方を母数として構成比を算出しています。

★調査票を記入されるのはどなたですか。（回答は1つ）

調査票を記入される方については、「主に介護している方」が88.5%、「その他」が11.5%となっています。



■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	主に介護している方	その他
全体 n=235	88.5%	11.5%
要介護1・2 n=138	87.7%	12.3%
要介護3～5 n=74	90.5%	9.5%

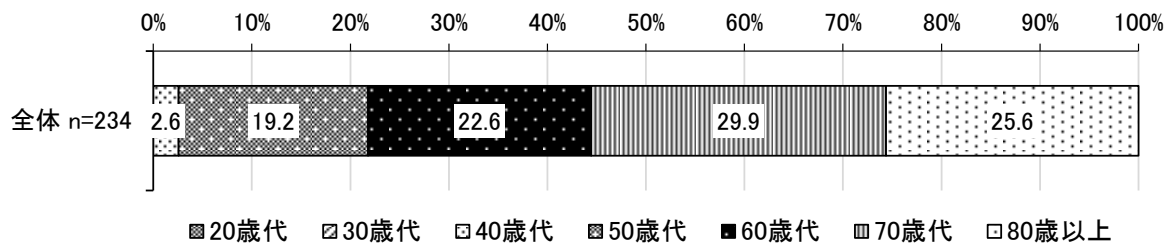
2 介護をしている方について

本項目は、介護をしている方の属性、介護をしている期間を把握するための項目となっています。

問1 以下は主に介護をしている方についてお答えください。★
(令和4年12月1日現在でお答えください)

①年齢

年齢については、「70歳代」が29.9%で最も高く、次いで「80歳以上」が25.6%、「60歳代」が22.6%となっています。

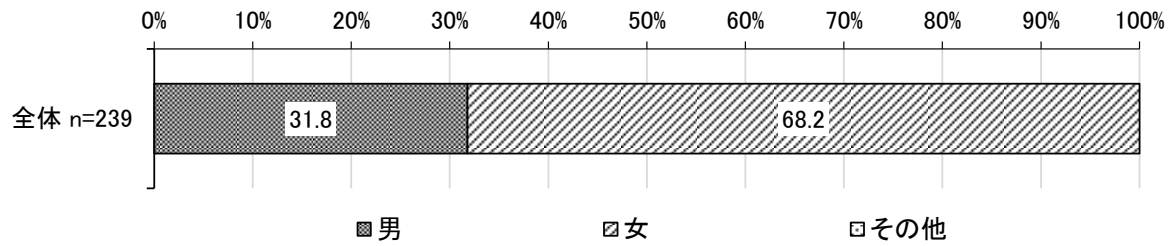


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体 n=234	0.0%	0.0%	2.6%	19.2%	22.6%	29.9%	25.6%
要介護1・2 n=136	0.0%	0.0%	2.9%	17.6%	25.0%	26.5%	27.9%
要介護3～5 n=75	0.0%	0.0%	1.3%	25.3%	18.7%	32.0%	22.7%

②性別

性別については、「男」が31.8%、「女」が68.2%となっています。

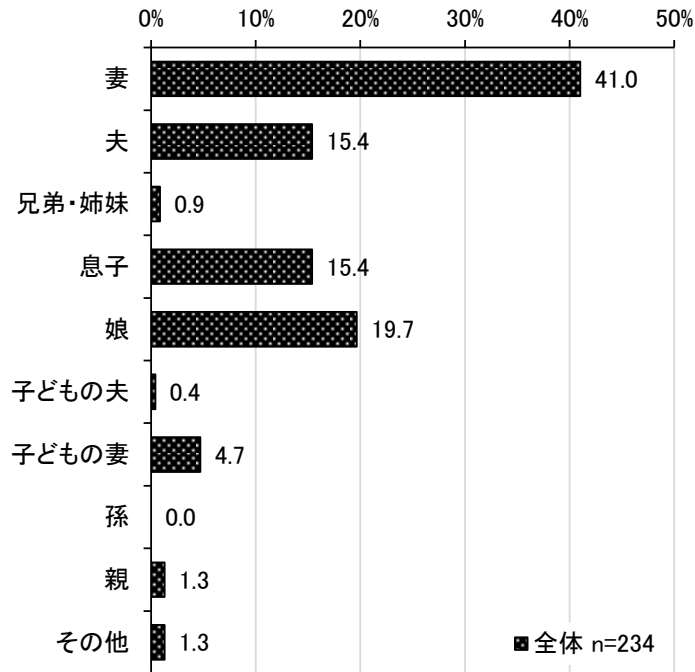


■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	男	女	その他
全体 n=239	31.8%	68.2%	0.0%
要介護1・2 n=139	30.9%	69.1%	0.0%
要介護3～5 n=76	36.8%	63.2%	0.0%

問2 介護を受けている方からみたあなたの続柄をお答えください。(回答は1つ)

介護を受けている方からみたあなたの続柄については、「妻」が41.0%で最も高く、次いで「娘」が19.7%、「夫」、「息子」がともに15.4%となっています。



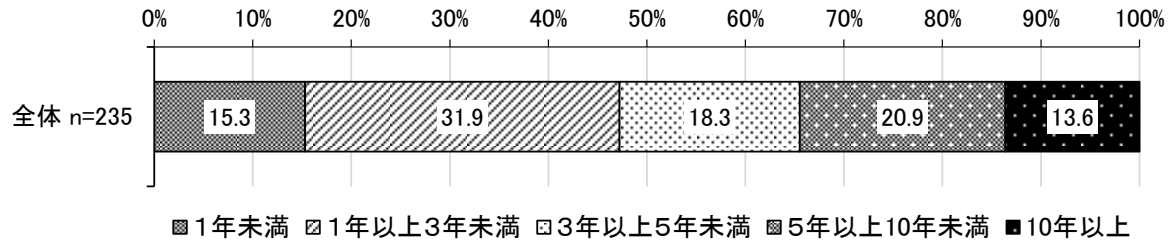
■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	妻	夫	兄弟・姉妹	息子	娘	子どもの夫	子どもの妻	孫	親
全体 n=234	41.0%	15.4%	0.9%	15.4%	19.7%	0.4%	4.7%	0.0%	1.3%
要介護1・2 n=132	42.4%	13.6%	0.8%	16.7%	21.2%	0.0%	2.3%	0.0%	1.5%
要介護3～5 n=79	34.2%	19.0%	1.3%	16.5%	17.7%	1.3%	7.6%	0.0%	1.3%

	その他
全体 n=234	1.3%
要介護1・2 n=132	1.5%
要介護3～5 n=79	1.3%

問3 どのくらいの期間、介護をしていますか。(回答は1つ)

介護をしている期間については、「1年以上3年未満」が31.9%で最も高く、次いで「5年以上10年未満」が20.9%、「3年以上5年未満」が18.3%となっています。



■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

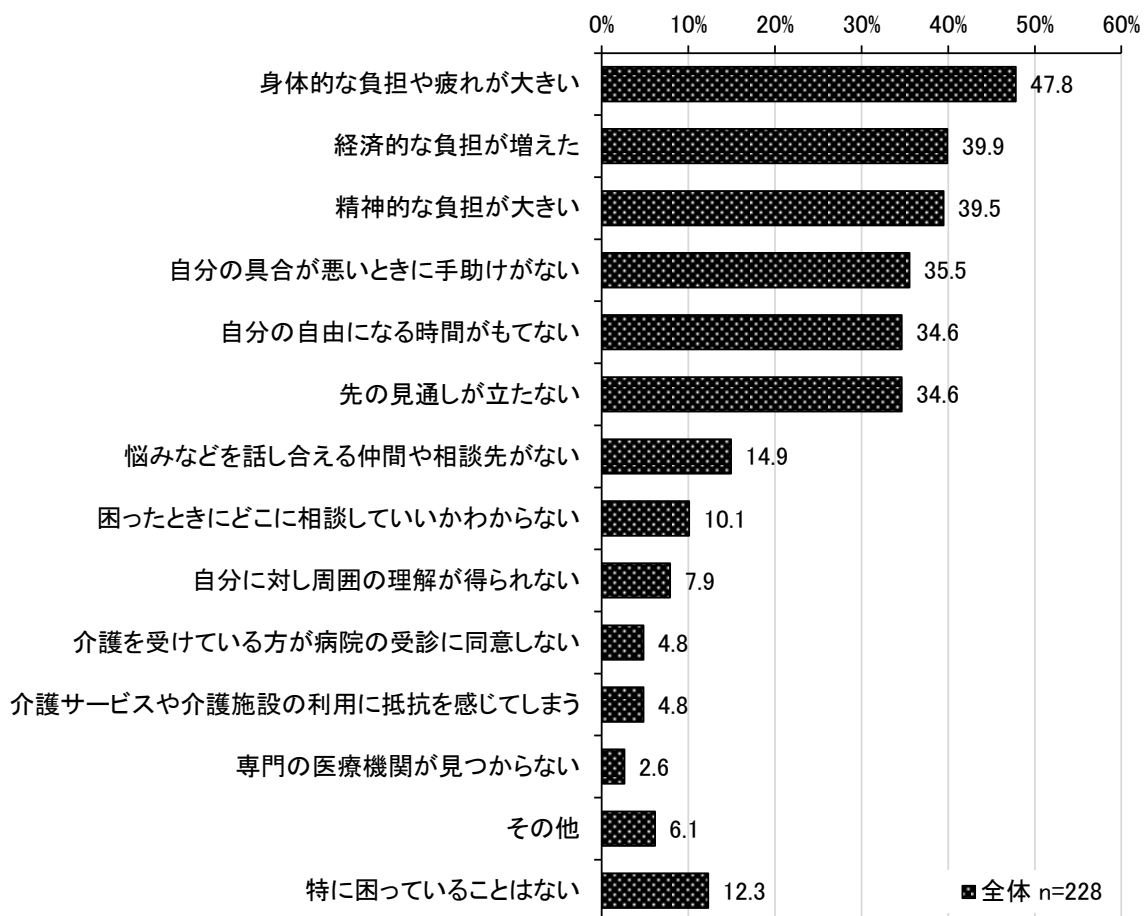
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上
全体 n=235	15.3%	31.9%	18.3%	20.9%	13.6%
要介護1・2 n=136	16.9%	34.6%	19.1%	19.9%	9.6%
要介護3～5 n=75	10.7%	24.0%	21.3%	20.0%	24.0%

3 主に介護している方の生活状況について

本項目は、介護をするうえで困っていること、介護の相談相手、今後の生活で心配なこと、介護への負担感、介護を行ううえで必要と感じる支援を把握するための項目となっています。

問4 介護をするうえで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護をするうえで困っていることについては、「身体的な負担や疲れが大きい」が47.8%で最も高く、次いで「経済的な負担が増えた」が39.9%、「精神的な負担が大きい」が39.5%となっています。



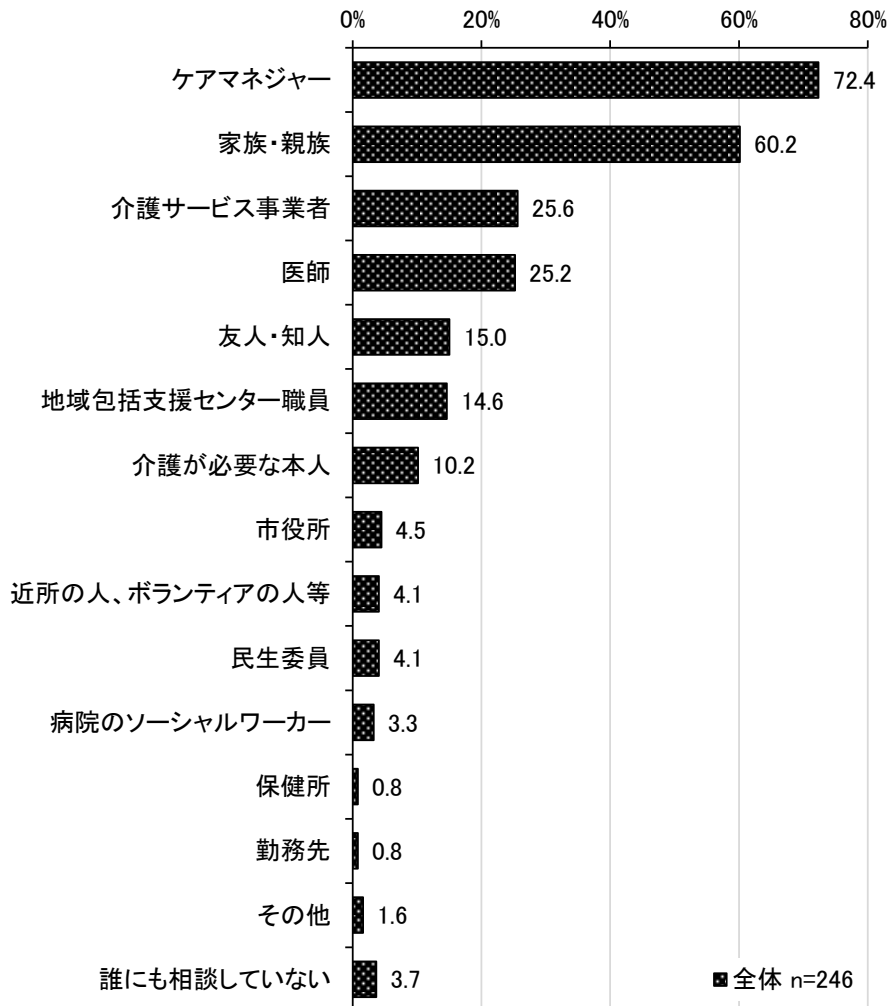
■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	身体的な負担や疲れが大きい	経済的な負担が増えた	精神的な負担が大きい	自分の具合が悪いときに手助けがない	自分の自由になる時間がもてない	先の見通しが立たない	悩みなどを話し合える仲間や相談先がない	困ったときにどこに相談していいかわからない	自分に対し周囲の理解が得られない
全体 n=228	47.8%	39.9%	39.5%	35.5%	34.6%	34.6%	14.9%	10.1%	7.9%
要介護1・2 n=133	46.6%	37.6%	42.9%	33.8%	36.1%	35.3%	14.3%	11.3%	6.8%
要介護3～5 n=72	54.2%	48.6%	36.1%	38.9%	37.5%	37.5%	15.3%	8.3%	8.3%

	介護を受けている方が病院の受診に同意しない	介護サービスや介護施設の利用に抵抗を感じてしまう	専門の医療機関が見つからない	その他	特に困っていることはない
全体 n=228	4.8%	4.8%	2.6%	6.1%	12.3%
要介護1・2 n=133	4.5%	4.5%	2.3%	6.0%	13.5%
要介護3～5 n=72	4.2%	6.9%	4.2%	5.6%	8.3%

問5 介護について誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護の相談相手については、「ケアマネジャー」が72.4%で最も高く、次いで「家族・親族」が60.2%、「介護サービス事業者」が25.6%となっています。



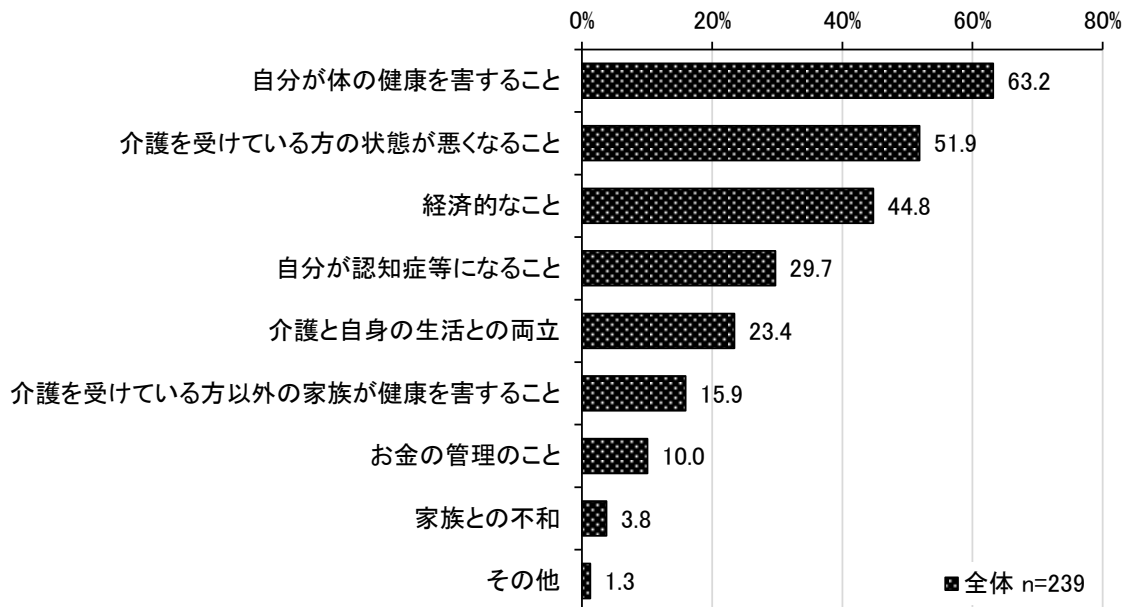
■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	ケアマネジャー	家族・親族	介護サービス事業者	医師	友人・知人	地域包括支援センター職員	介護が必要な本人	市役所	近所の人、ボランティアの人等
全体 n=246	72.4%	60.2%	25.6%	25.2%	15.0%	14.6%	10.2%	4.5%	4.1%
要介護1・2 n=142	72.5%	60.6%	23.2%	26.1%	14.8%	17.6%	12.0%	5.6%	4.9%
要介護3～5 n=79	79.7%	57.0%	30.4%	25.3%	16.5%	7.6%	5.1%	2.5%	2.5%

	民生委員	病院のソーシャルワーカー	保健所	勤務先	その他	誰にも相談していない
全体 n=246	4.1%	3.3%	0.8%	0.8%	1.6%	3.7%
要介護1・2 n=142	4.9%	2.8%	0.7%	1.4%	0.7%	4.2%
要介護3～5 n=79	1.3%	5.1%	1.3%	0.0%	2.5%	2.5%

問6 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分が体の健康を害すること」が63.2%で最も高く、次いで「介護を受けている方の状態が悪くなること」が51.9%、「経済的なこと」が44.8%となっています。

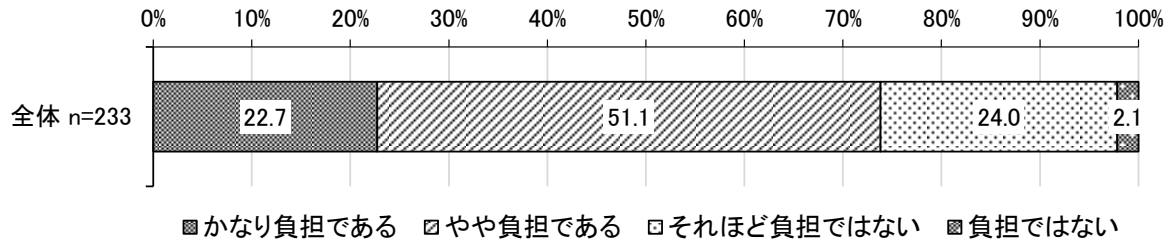


■属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	自分が体の健康を害すること	介護を受けている方の状態が悪くなること	経済的なこと	自分が認知症等になること	介護と自身の生活との両立	介護を受けている方以外の家族が健康を害すること	お金の管理のこと	家族との不和	その他
全体 n=239	63.2%	51.9%	44.8%	29.7%	23.4%	15.9%	10.0%	3.8%	1.3%
要介護1・2 n=140	62.9%	56.4%	42.9%	29.3%	25.0%	15.7%	9.3%	2.9%	2.1%
要介護3～5 n=76	64.5%	48.7%	51.3%	25.0%	19.7%	11.8%	10.5%	5.3%	0.0%

問7 あなたが感じている介護の負担感はどの程度ですか。(回答は1つ)

介護の負担感については、「やや負担である」が51.1%で最も高く、次いで「かなり負担である」が22.7%、「それほど負担ではない」が24.0%となっています。



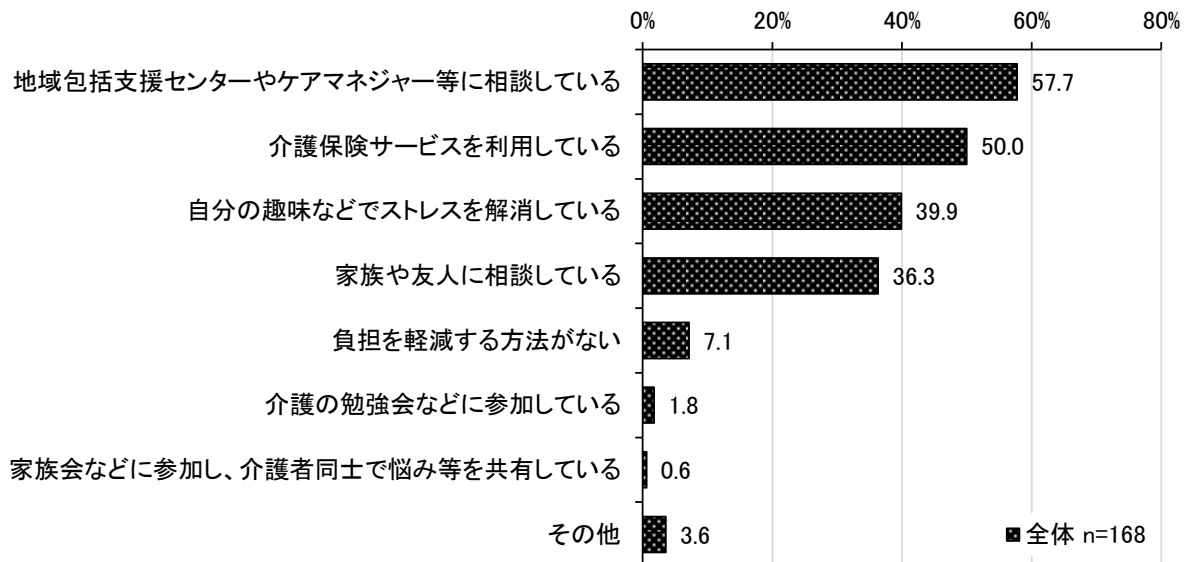
■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	かなり負担である	やや負担である	それほど負担ではない	負担ではない
全体 n=233	22.7%	51.1%	24.0%	2.1%
要介護1・2 n=139	18.7%	53.2%	25.2%	2.9%
要介護3～5 n=73	31.5%	49.3%	17.8%	1.4%

【問7で「かなり負担である」、「やや負担である」と回答した方におたずねします。】

問7-1 介護の負担を軽減するために、普段どのようなことをされていますか。
(あてはまるものすべてに回答)

介護の負担を軽減するための取組については、「地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している」が57.7%で最も高く、次いで「介護保険サービスを利用している」が50.0%、「自分の趣味などでストレスを解消している」が39.9%となっています。

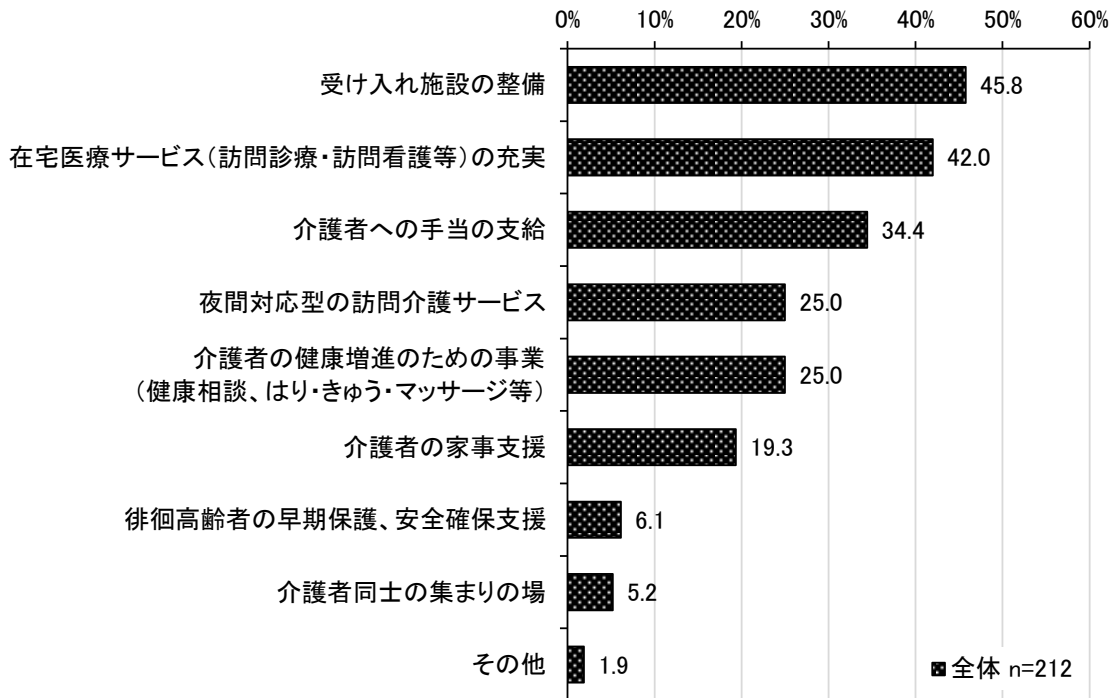


■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している	介護保険サービスを利用している	自分の趣味などでストレスを解消している	家族や友人に相談している	負担を軽減する方法がない	介護の勉強会などに参加している	家族会などに参加し、介護者同士で悩み等を共有している	その他
全体 n=168	57.7%	50.0%	39.9%	36.3%	7.1%	1.8%	0.6%	3.6%
要介護1・2 n=99	54.5%	50.5%	45.5%	33.3%	9.1%	2.0%	1.0%	5.1%
要介護3～5 n=57	57.9%	49.1%	29.8%	40.4%	5.3%	1.8%	0.0%	1.8%

問8 介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思いますか。(回答は3つまで)

介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思うかについては、「受け入れ施設の整備」が45.8%で最も高く、次いで「在宅医療サービス（訪問診療・訪問看護等）の充実」が42.0%、「介護者への手当の支給」が34.4%となっています。



■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

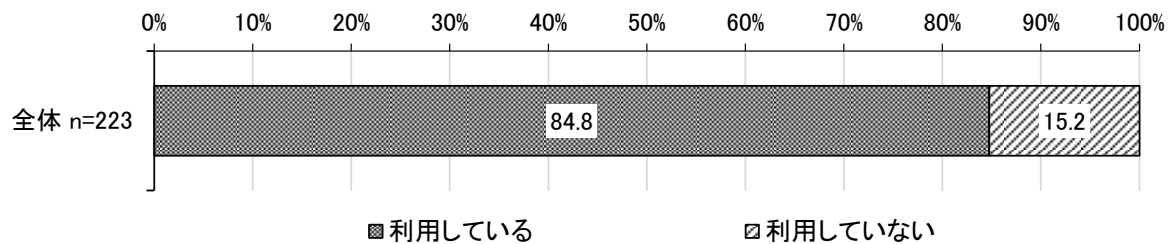
	受け入れ施設の整備	在宅医療サービス(訪問診療・訪問看護等)の充実	介護者への手当の支給	夜間対応型の訪問介護サービス	介護者の健康増進のための事業(健康相談、はり・きゅう・マッサージ等)	介護者の家事支援	徘徊高齢者の早期保護、安全確保支援	介護者同士の集まりの場	その他
全体 n=212	45.8%	42.0%	34.4%	25.0%	25.0%	19.3%	6.1%	5.2%	1.9%
要介護1・2 n=126	49.2%	42.9%	33.3%	25.4%	25.4%	15.9%	6.3%	5.6%	0.8%
要介護3～5 n=67	43.3%	40.3%	37.3%	25.4%	22.4%	23.9%	6.0%	3.0%	3.0%

4 介護保険サービスについて

本項目は、介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスを利用した結果による状況、終末期に対する考え方を把握するための項目となっています。

問9 介護を受けている方は、介護保険サービスを利用していますか。(回答は1つ) ★

介護を受けている方の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が84.8%、「利用していない」が15.2%と、「利用している」が69.6ポイント上回っています。



■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

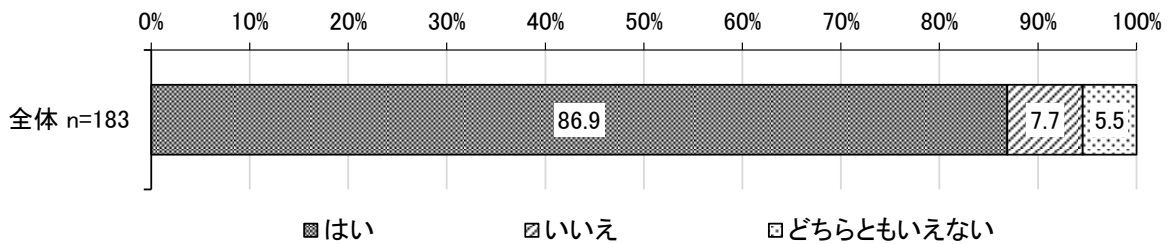
	利用している	利用していない
全体 n=223	84.8%	15.2%
要介護1・2 n=133	85.7%	14.3%
要介護3～5 n=72	88.9%	11.1%

【問9で「利用している」と回答した方におたずねします。】

問9-1 介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(回答はそれぞれの項目で1つ)

① サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか

サービス事業者や施設を選択できることを知っているかについては、「はい」が86.9%で最も高く、次いで「いいえ」が7.7%、「どちらともいえない」が5.5%となっています。

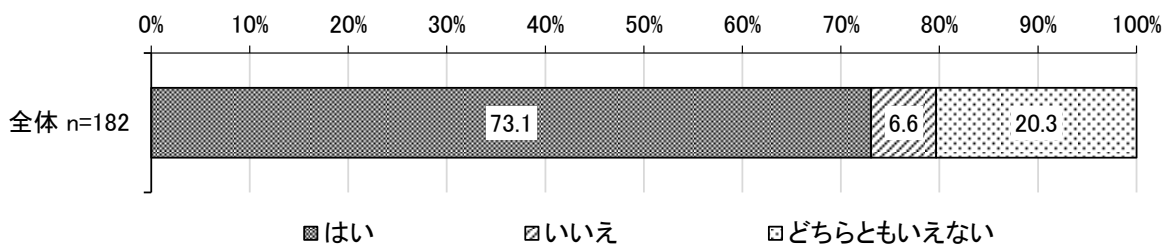


■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=183	86.9%	7.7%	5.5%
要介護1・2 n=112	89.3%	7.1%	3.6%
要介護3～5 n=61	83.6%	8.2%	8.2%

② 介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思うかについては、「はい」が73.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が20.3%、「いいえ」が6.6%となっています。

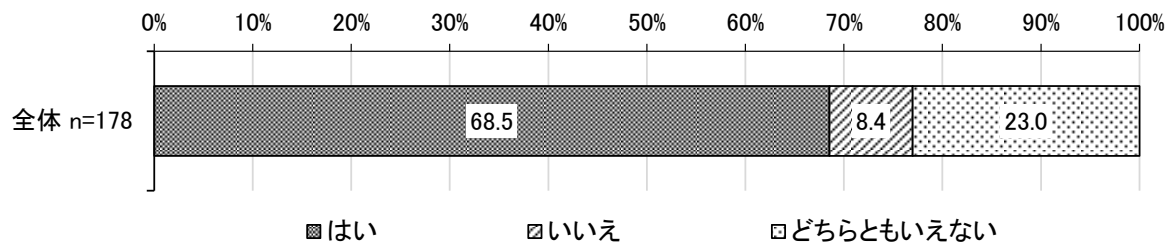


■ 属性別クロス集計結果 (要介護度別)

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=182	73.1%	6.6%	20.3%
要介護1・2 n=111	70.3%	8.1%	21.6%
要介護3～5 n=61	78.7%	4.9%	16.4%

③介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思うかについては、「はい」が68.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.0%、「いいえ」が8.4%となっています。

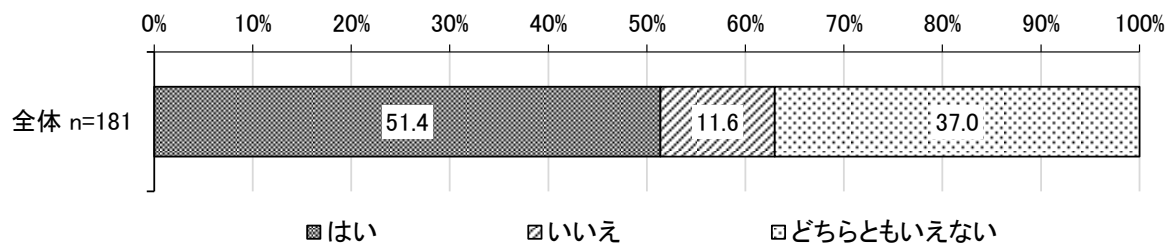


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=178	68.5%	8.4%	23.0%
要介護1・2 n=108	71.3%	8.3%	20.4%
要介護3～5 n=60	68.3%	10.0%	21.7%

④介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善しましたか

介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善したかについては、「はい」が51.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が37.0%、「いいえ」が11.6%となっています。

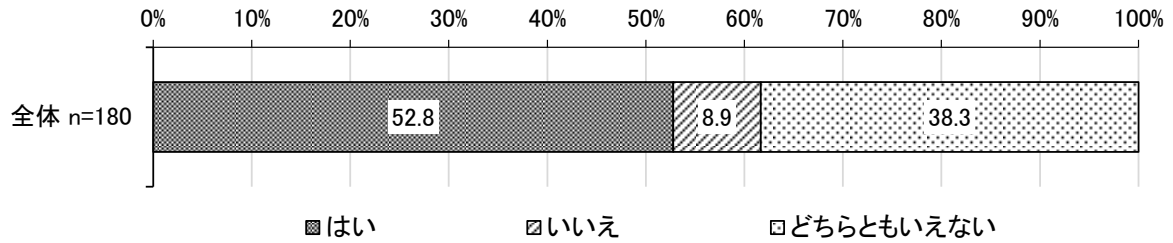


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=181	51.4%	11.6%	37.0%
要介護1・2 n=110	48.2%	10.9%	40.9%
要介護3～5 n=61	59.0%	13.1%	27.9%

⑤介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減りましたか

介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減ったかについては、「はい」が52.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が38.3%、「いいえ」が8.9%となっています。

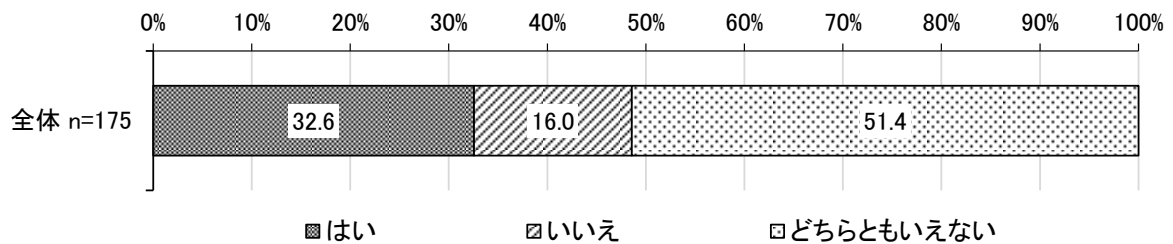


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=180	52.8%	8.9%	38.3%
要介護1・2 n=109	52.3%	7.3%	40.4%
要介護3～5 n=61	52.5%	13.1%	34.4%

⑥仕事や家事と両立できるようになったと思いますか

仕事や家事と両立できるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が51.4%で最も高く、次いで「はい」が32.6%、「いいえ」が16.0%となっています。

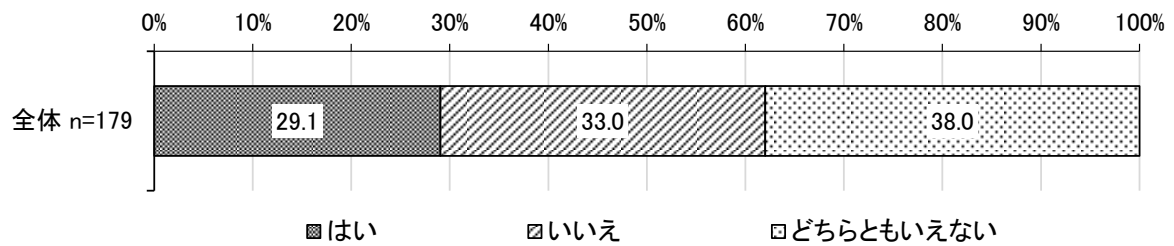


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=175	32.6%	16.0%	51.4%
要介護1・2 n=106	33.0%	12.3%	54.7%
要介護3～5 n=59	33.9%	23.7%	42.4%

⑦外出する機会が増えたと思いますか

外出する機会が増えたと思うかについては、「どちらともいえない」が38.0%で最も高く、次いで「いいえ」が33.0%、「はい」が29.1%となっています。

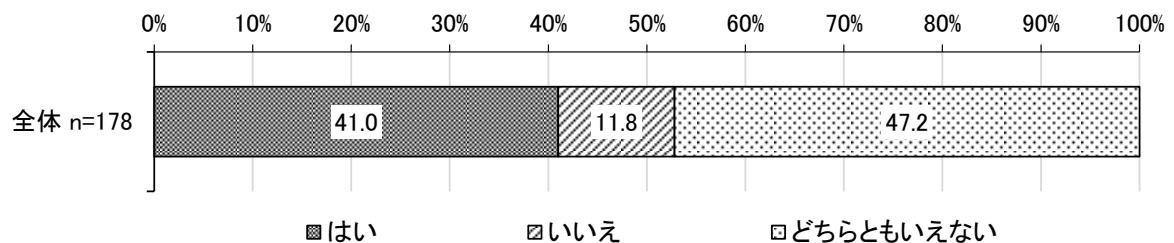


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=179	29.1%	33.0%	38.0%
要介護1・2 n=108	33.3%	32.4%	34.3%
要介護3～5 n=60	25.0%	35.0%	40.0%

⑧介護の方法がわかるようになったと思いますか

介護の方法がわかるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が47.2%で最も高く、次いで「はい」が41.0%、「いいえ」が11.8%となっています。

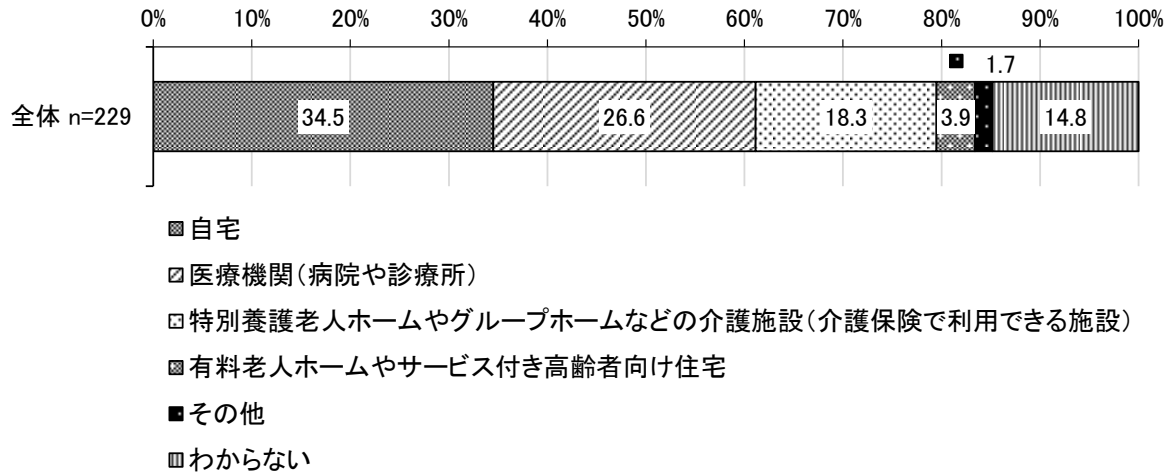


■属性別クロス集計結果（要介護度別）

	はい	いいえ	どちらともいえない
全体 n=178	41.0%	11.8%	47.2%
要介護1・2 n=108	37.0%	13.0%	50.0%
要介護3～5 n=60	50.0%	10.0%	40.0%

問 10 ご家族が終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）を迎えたときに過ごしてほしい場所はどこですか。（回答は1つ）

家族が終末期を迎えたときに過ごしてほしい場所については、「自宅」が34.5%で最も高く、次いで「医療機関（病院や診療所）」が26.6%、「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設（介護保険で利用できる施設）」が18.3%となっています。



■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	自宅	医療機関 (病院や診療所)	特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設 (介護保険で利用できる施設)	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	その他	わからない
全体 n=229	34.5%	26.6%	18.3%	3.9%	1.7%	14.8%
要介護1・2 n=133	31.6%	27.1%	18.0%	4.5%	2.3%	16.5%
要介護3～5 n=72	40.3%	23.6%	23.6%	2.8%	1.4%	8.3%

5 市の施策・事業について

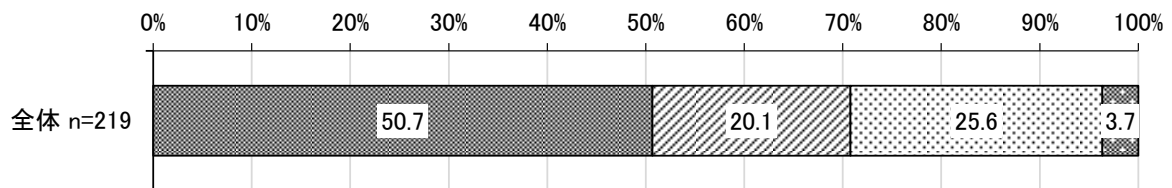
本項目は、市の独自制度（紙おむつ給付事業）に対する意向、高齢者の生活環境を整備するために必要なことを把握するための項目となっています。

問 11 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象（一部支給要件有り）に、紙おむつ給付事業を実施しています。

令和2年度より国県等の補助がなくなったことから、現在は介護保険料を財源として実施していますが、紙おむつの支給額は年々増加傾向にあり、今後の介護保険料への影響が予想されます。

今後、紙おむつ給付事業をどのように実施していくべきだと思いますか。（回答は1つ）

今後、紙おむつ給付事業をどのように実施していくべきかについては、「介護保険料が上がっても、現行どおりの内容（上限5,600円/月）で継続した方がよい」が50.7%で最も高く、次いで「支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい」が25.6%、「介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい」が20.1%となっています。



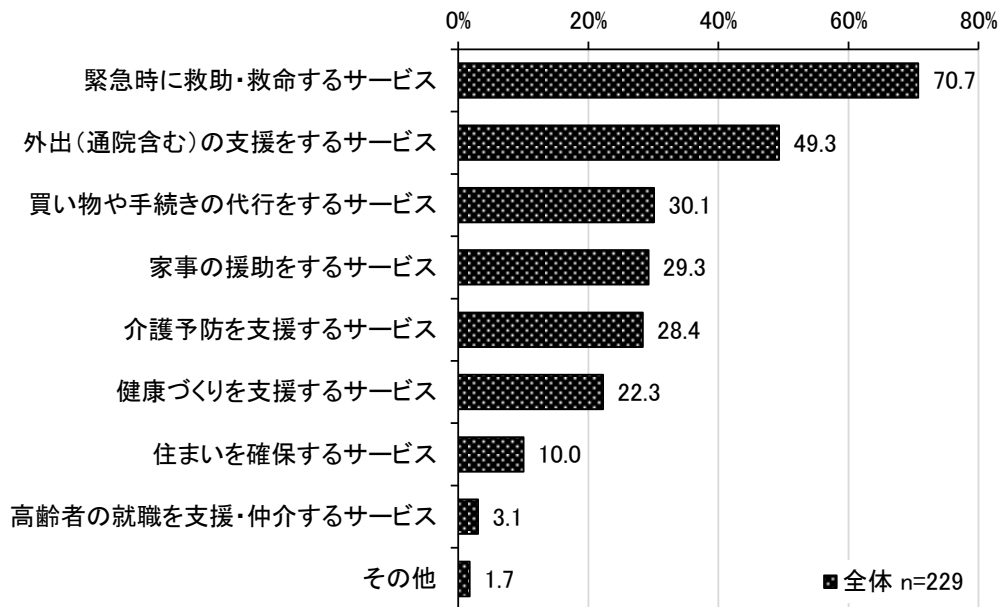
- 介護保険料が上がっても、現行どおりの内容(上限5,600円/月)で継続した方がよい
- ▣ 介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい
- ▨ 支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい
- ▩ 国や県の補助がない以上、市の独自制度として実施する必要性は低い

■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	介護保険料が上がっても、現行どおりの内容(上限5,600円/月)で継続した方がよい	介護保険料への影響を抑えるため、上限額を現在よりも低く設定した方がよい	支給対象を介護度の高い方に限定するなど、支給要件を見直した方がよい	国や県の補助がない以上、市の独自制度として実施する必要性は低い
全体 n=219	50.7%	20.1%	25.6%	3.7%
要介護1・2 n=127	52.0%	22.8%	22.0%	3.1%
要介護3～5 n=72	54.2%	15.3%	26.4%	4.2%

問 12 高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するためにはどのようなサービスが必要だと思いますか。（回答は3つまで）

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要だと思うサービスについては、「緊急時に救助・救命するサービス」が70.7%で最も高く、次いで「外出（通院含む）の支援をするサービス」が49.3%、「買い物や手続きの代行をするサービス」が30.1%となっています。



■ 属性別クロス集計結果（要介護度別）

	緊急時に救助・救命するサービス	外出（通院含む）の支援をするサービス	買い物や手続きの代行をするサービス	家事の援助をするサービス	介護予防を支援するサービス	健康づくりを支援するサービス	住まいを確保するサービス	高齢者の就職を支援・仲介するサービス	その他
全体 n=229	70.7%	49.3%	30.1%	29.3%	28.4%	22.3%	10.0%	3.1%	1.7%
要介護1・2 n=132	68.2%	50.8%	30.3%	29.5%	30.3%	23.5%	12.1%	3.8%	1.5%
要介護3～5 n=76	76.3%	50.0%	28.9%	27.6%	26.3%	17.1%	6.6%	2.6%	2.6%

第3章 要介護高齢者（本人） 調査結果のまとめ

1 あて名のご本人について

回答者の属性について、年齢では、前期高齢者が11.6%、後期高齢者が77.1%と、後期高齢者の占める割合が高くなっています。

性別では、男性が41.2%、女性が42.0%と、性別による回答比率の差は小さくなっています。

要介護度では、要介護1が27.8%、要介護2が24.0%、要介護3が12.9%、要介護4が8.4%、要介護5が6.5%と、要介護1・2が51.8%、要介護3～5が27.8%と、要介護1・2の回答比率が高くなっています。

2 あなたのご家族や生活状況について

家族構成については、1人暮らしの割合が19.7%となっています。今後、高齢者人口の増加とともに、1人暮らしの高齢者世帯の増加が予測されます。

経済状況では、大変苦しい、やや苦しいの合計値が32.0%となっています。昨今の物価高騰の状況を踏まえると、今後、経済的に苦しいと感じる方も増加していくのではないかと予測されます。

3 からだを動かすことについて

1週間の外出頻度については、ほとんど外出しないが26.7%となっており、要介護度別でみると、要介護1・2が24.0%、要介護3～5が42.7%と、介護度があがると外出頻度は減少する結果となっています。

主な外出先は、デイサービスなどの通所施設、病院、診療所、買い物をする場所が上位に挙げられていますが、前回調査との比較では、デイサービスなどの通所施設、病院、診療所は減少となっています。また、外出を控えていると回答した方の理由として、前回調査との比較では、その他の割合が増加しています。さらには、外出する際の移動手段について、前回調査との比較では、自動車（人に乗せてもらう）、タクシーが減少となっています。これらの結果をみると、新型コロナウイルス感染症が高齢者の外出に与えた影響は大きいと考えられます。外出の機会が減少することにより、運動不足による健康状態の悪化や社会的孤立なども懸念されます。今後、新型コロナウイルス感染症に対する制限緩和に向けた議論が進展していく中で、高齢者の外出にどのような変化が生じていくのか注視していく必要があると考えられます。

4 毎日の生活について

日常生活の中での困りごとは、日常の力仕事、買い物に行くのが困難、外出の際の移動手段が上位に挙げられています。

今後の生活で心配なことについては、自分の健康に関することが4割後半、自分が認知症になることが3割前半と、自分の健康及び認知症になることに対する心配が大きいことがうかがえます。また、要介護度別でみると、自分の健康に関すること、自分が認知症になることの割合は、要介護1・2のほうが高いことから、介護度が低い方のほうが、自身の健康及び認知症になることに対する心配が大きいことがうかがえます。

5 地域の活動について

地域との関係に対する考え方については、緊密なかかわり、ある程度のかかわり、必要最小限のつきあいと、地域とのかかわりをもちながらと考えている方の割合を合計すると6割後半となっています。外出機会の減少と同様に、地域とのかかわりあいに対する考え方への新型コロナウイルス感染症の影響が想定されることから、今後、どのような変化が生じていくのか注視していく必要があると考えられます。

6 健康について

アドバンス・ケア・プランニングの認知度は、知らないが7割前半と、高齢者一般・要支援高齢者と同様に、認知されていない状況であることがうかがえます。終末期における本人の意思決定を支援するプロセスであり、いずれ誰もが訪れる終末期に向けて、本人のみならず、社会全体への浸透に向けた普及啓発が必要であると考えられます。

終末期の在宅生活で不安に感じることについては、家族の介護等の負担が心配、自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配、急変などがあつた場合の対応体制が心配が上位に挙げられています。なお、これら上位項目の割合を要介護度別でみると、要介護3～5に比べて要介護1・2のほうが高くなっています。要介護1・2の方では、身体機能の変化などにより、今後の日常生活も大きく変わると予測されることから、割合も高く出ていると考えられます。将来的な不安を解消するためにも、先を見据えた検討・準備をしておくことが大切であると考えられます。

7 認知症施策について

認知症施策について、みんなのカフェ、認知症サポーター、トコロんおかえりQRを認知している割合は、いずれも約1割となっています。認知が進まない要因としては、新型コロナウイルス感染症による講演会の中止や交流機会の減少など、知る機会が減少していることが影響していると考えられます。

8 市の施策・事業、介護保険制度について

特別養護老人ホームに入所する場合の部屋の希望については、個室（理由：プライバシーを確保しやすい）が4割後半と、約半数の方はプライバシー確保のため個室を希望している状況であります。

介護保険料への負担感では、前回調査との比較では、負担とは感じない、それほど負担とは感じないの合計値が増加しています。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、前回調査との比較では、移送サービス、外出同行が増加となっています。今後、新型コロナウイルス感染症による制限の緩和により、外出機会の増加とともに、外出支援に対するニーズも高まると予測されることから、外出支援を必要とする方へ情報が行き届くよう、各種媒体を活用した情報発信も大切であると考えられます。

紙おむつ給付事業については、要介護度別でみると、要介護1・2、要介護3～5ともに、介護保険料が上がっても、現行どおりの内容で継続した方がよいが4割前半と、現行どおりの内容で継続を望む方が多い傾向にあります。

第4章 要介護高齢者（介護者） 調査結果のまとめ

1 調査票を記入される方について

調査票に記入される方は、主に介護している方が88.5%、その他が11.5%となっています。

2 介護をしている方について

介護者の属性について、年齢では、70歳代が29.9%で最も高く、次いで80歳以上が25.6%、60歳代が22.6%と、60歳以上で約8割を占めており、前回調査との比較では、60歳以上の割合が増加していることから、介護者の高齢化も進んでいることがうかがえます。

性別では、男性が31.8%、女性が68.2%となっています。介護を受けている方からみる介護者の続柄としては、妻、娘の割合が高く、前回調査との比較では、妻が増加する一方で、娘は減少しており、新型コロナウイルス感染症により、日頃から身近にいる妻が介護者となり、介護をしている割合も増加しているのではないかと予測されます。

3 主に介護している方の生活状況について

介護をするうえで困っていることについては、身体的・精神的負担が大きいこと、経済的負担、手助けがない、自由になる時間がもてない、見通しが立たないが上位に挙げられています。介護者が抱える困りごとにも多様であることから、十分な情報を提供することにより介護者が抱える不安の解消や、介護者支援の提供により実質的な負担軽減を図っていくとともに、日々の介護によるストレスや不安が相談できる場を充実させることなどが必要であると考えられます。

介護についての相談先については、前回調査と同様に、ケアマネジャーが7割前半で最も高くなっています。引き続き、専門的知見を有した身近な支援者として、介護を必要とする方、介護者、また家族に寄り添いながら、安心して生活できるよう支援していくことが大切であると考えられます。

介護の負担感については、要介護度別でみると、かなり負担である、やや負担であるの合計値は、要介護1・2が71.9%、要介護3～5が80.8%と、いずれも高い割合となっていますが、やはり介護度があがると負担感も高くなる傾向がみられます。

負担を軽減するための取組では、地域包括支援センターやケアマネジャー等への相談、介護保険サービスの利用が上位に挙げられています。また、要介護度別でみると、要介護1・2では、自分の趣味などでストレスを解消している割合が、要介護3～5よりも高くなる一方で、要介護3～5では、家族や友人に相談している割合が、要介護1・2よりも高いことから、介護度に応じて、負担を軽減するための取組にも違いがみられます。

4 介護保険サービスについて

介護保険サービスの利用により得られた結果については、身体的・精神的負担が軽減されたとの割合は、他の項目に比べて高くなっています。また、前回調査との比較では、介護の方法がわかるようになったが増加していることから、介護の方法に関する情報を介護者が受け取れている割合は増加傾向にあると考えられます。

一方で、介護と仕事や家事の両立や、自分の時間をつくり外出する機会を増やすなどといった介護者支援に関する項目は、前回調査との比較では、大きな差がみられなかったことから、介護保険サービスの利用による改善の傾向はみられませんでした。これらの項目に対する支援策としては、介護保険サービスの利用のみならず、インフォーマルサービスの活用や、多様な勤務形態による就労、介護休暇の取得など、介護者の状況に応じた支援を、民間を含めて柔軟に展開されることが重要であると考えられます。

5 市の施策・事業について

紙おむつ給付事業について、介護者の立場からは、介護保険料が上がっても、現行どおりの内容で継続した方がよいが約5割と、現行どおりの内容で継続を望む方が多い傾向にあります。

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要だと思うサービスについては、緊急時に救助・救命するサービス、外出の支援をするサービスが上位に挙げられ、外出の支援をするサービスは、前回調査より増加となっています。